教養教育について

注　　意

1．教養教育科目は東広島，霞及び東千田の各キャンパスで開講されます。履修を希望する科目がどこのキャンパスで開講される科目なのかを別途配付する冊子「教養教育科目授業時間割」などで確認の上，履修手続等を行ってください。
2．授業に関する連絡事項，時間割変更，休講・補講・教室変更，期末試験情報等の講義情報は「学生情報の森　もみじ」で通知します。「学生情報の森　もみじ」は学外者も閲覧可能な「もみじ Top」と，ID とパスワードを使って利用する「My もみじ」で構成されています。確認を怠ったために，思いもよらない不利益を被る場合がありますので，**一日に一度は必ず両方の「もみじ」を確認してください。**
3．記載事項等に不明な点や疑問な点があれば，この学生便覧を持参の上，直接関係窓口で確認してください。

TOEFL 及び TOEIC はエデュケーショナル・テスティング・サービス（ETS）の登録商標です。この印刷物は ETS の検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

目　　次

Ⅰ．教養教育の理念と目的……教養２
Ⅱ．用語解説と一般的な履修上の注意事項……教養４
Ⅲ．授業科目の履修……教養６
１．平和科目……教養６
２．大学教育入門……教養６
３．教養ゼミ……教養７
４．展開ゼミ……教養７
５．領域科目……教養８
６．外国語科目……教養９
(1) 英　語……教養９
(2) 初修外国語……教養10
７．情報・データサイエンス科目……教養12
８．健康スポーツ科目……教養13
９．社会連携科目……教養14
10．基盤科目……教養14
Ⅳ．履修に関する手続・相談等……教養15
Ⅴ．試験及び成績……教養18
Ⅵ．令和7(2025)年度教養教育開設授業科目一覧 ……教養20
１．昼間授業時間帯に開設する授業科目……教養20
２．夜間授業時間帯に開設する授業科目……教養27
Ⅶ．教養教育関係規則等……教養29
１．広島大学教養教育科目履修規則……教養29
２．外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて……教養32
Ⅷ．配置図等……教養38
１．東広島キャンパス配置図……教養38
２．総合科学部付近配置図……教養39
３．総合科学部講義室配置図……教養40
４．霞キャンパス配置図……教養44
５．東千田キャンパス配置図……教養46
６．教養教育担当及び各学部学生支援担当の連絡先……教養50

Ⅰ．教養教育の理念と目的

広島大学は，人類史上初めての原子爆弾が投下された被爆地広島に1949年に創設されました。森戸辰男初代学長は，1950年11月５日の広島大学開学式において，「平和な一つの世界」を実現するために，まず民主的で平和な「一つの祖国」を建設すべきであること，そして「一つの祖国」の精神的基礎をなす自由で平和な「一つの大学」として，広島大学が世界と日本の平和的再建という責任を果たす決意を表明されました。この建学の精神に基づき，広島大学では教養教育における理念と目的を次のように立てています。

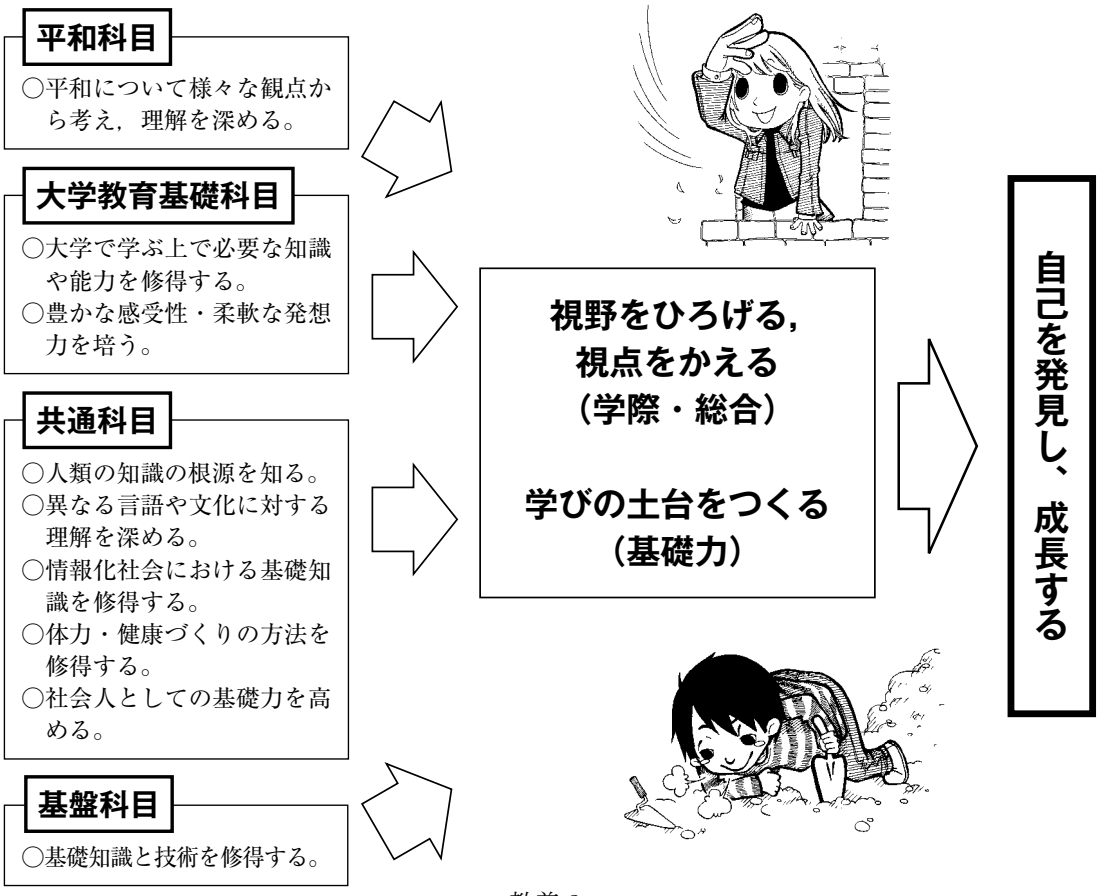
教養教育の理念

広島大学は，我が国有数の規模をもつ総合大学として社会の要請にこたえるため，幅広く深い教養と総合的な判断力を培い，豊かな人間性を涵養することを目指す教養教育を行い，専門的知識・技術の修得とあいまって，人間の尊厳と人類愛に基づく国際理解と世界平和への寄与を通して，国際社会に貢献する人材を育成することを目指します。

教養教育の目的

教養教育の目的は，幅広い教養に支えられた豊かな人間性を培うことにあります。そのためには，いわゆる専門に直結する基礎知識・技術を修得するだけでなく，その枠を超えて広く学問への関心を高め，ものごとを学際的・総合的にとらえられる能力を養うことが必要となります。ぜひ，教養教育で得たものを，みなさんの人間としての成長と人類の未来に活かしてください。

【教養教育の学習イメージ】



教養教育の科目区分

教養教育の理念と目的を達成するため,「平和科目」「大学教育基礎科目」「共通科目」「基盤科目」の４つの大科目区分から学びます。さらに，大学教育基礎科目と共通科目は複数の小科目区分から構成されています。

【科目区分構成】

平和科目

大学教育基礎科目
- 大学教育入門
- 教養ゼミ
- 展開ゼミ

共通科目
- 領域科目
- 外国語科目（英語・初修外国語）
- 情報・データサイエンス科目
- 健康スポーツ科目
- 社会連携科目

基盤科目

【各科目区分の教育目標】

科目区分		教育目標
平和科目		戦争・紛争，核廃絶，貧困，飢餓，人口増加，環境，教育，文化等の様々な観点から平和について自ら考え，理解を深めることを目標にしています。
大学教育基礎科目	大学教育入門	大学で学ぶことの意義と目標を理解し，大学で学ぶ上で基本となる技能や態度を身につけることを目標にしています。
	教養ゼミ	人類や社会が抱えてきた歴史的，現代的な課題に対して，証拠に基づき論理的に考え批判的に自身の思考を吟味する能力と，適切に自己表現を行う能力を身につけることを目標にしています。
	展開ゼミ	最先端のテーマについて学び討論したり，体験型の学習を行うことを通じて問題発見・解決能力を涵養するとともに，チャレンジ精神，プレゼンテーション力，リーダーシップ力などの向上を図ることを目標にしています。
共通科目	領域科目	人間が蓄積してきた知識がどのようにして生まれ，育ってきたのか，その根本の考え方は何であるのかについて，文化的・社会的・自然科学的な視点を踏まえながら，専門分野の枠を超えて共通に求められる知的な技法を学ぶことを目標にしています。
	外国語科目 ・英語 ・初修外国語	グローバル化時代に対応するため，様々な外国語で情報を受信し，発信できるコミュニケーション能力を養成し，知識・技能を修得するとともに，異なる言語や文化に対する理解を深めることを目標にしています。
	情報・データサイエンス科目	高度情報化社会の中でデータを活用していくのに必要となる基礎的な知識や技能を修得し，その有用性と問題点，情報倫理上の課題を理解し，活用する能力を身につけさらに，将来，新しく現れる技術にも対応しようとする態度を養うことを目標にしています。
	健康スポーツ科目	体力・健康づくりのための科学的理論を修得するとともに，自己の特性やスポーツの技能水準に適合したスポーツの実践を通じて，生涯にわたってスポーツを楽しむ態度・マナーや協調性などの社会的技能を修得することを目標にしています。
	社会連携科目	社会における多様性を理解し，実践することを通して，社会で生き，活躍するために必要な力を高めることを目標にしています。
基盤科目		専門教育との有機的関連性を持つ前専門教育として，それぞれの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識の学習により，基礎学問の論理的骨格や体系及び学問形成に必要な知識・技術を修得することを目標にしています。

Ⅱ．用語解説と一般的な履修上の注意事項

１．学期，ターム及びセメスターについて

広島大学では，１年間を前期（４月１日から９月30日まで）と後期（10月１日から３月31日まで）の２学期に分け，原則学期ごとに履修する授業科目を選択します。さらに，各学期の授業期間がそれぞれ２つの期間に分けられた「第１タームから第４ターム」が設けられます。各授業科目は実施方法に応じて，原則ターム内で週２回の授業を行う「ターム科目」と，学期を通じて週１回の授業を行う「セメスター科目」の２種類があります。

なお，一般的に，１年次前期を１期（１セメスター），後期を２期（２セメスター），２年次前期を３期（３セメスター），後期を４期（４セメスター）・・・というように呼んでいます。

年　次	１年次				２年次				…
学　期	前期		後期		前期		後期		
ターム	１ターム	２ターム	３ターム	４ターム	１ターム	２ターム	３ターム	４ターム	
セメスター	１セメスター		２セメスター		３セメスター		４セメスター		

２．授業科目と単位について

(1) 授業科目

本年度の教養教育の開設授業科目は「令和７(2025)年度教養教育開設授業科目一覧」（p. 教養20～p. 教養28）に記載しています。なお，法学部・経済学部夜間主コースの学生は，昼間授業時間帯に開設される授業科目も，開講キャンパスを問わず定められた単位数まで履修することができます。また，夜間授業時間帯に開設される授業科目は，許可された特定の学部の学生しか履修することができません。

(2) 単位と単位の修得

卒業するためには，所属学部が履修基準表などで定めている一定の「単位」を修得する必要があります。

単位は，各授業科目において実施する試験に合格した場合などに修得することができます。各授業科目で修得できる単位数は，予習・復習の時間も考慮して，別に定める算定基準により決定されます。詳細は，「令和７(2025)年度教養教育開設授業科目一覧」（p. 教養20～p. 教養28）の「開設単位数」欄を参照してください。

【修得できる単位数と学修時間（例）】

授業の方法（単位数）	学修時間	学修時間の内訳
講　　義（２単位）	90時間	（授業２時間＋予習・復習４時間）×15回
演習・実習（１単位）	45時間	（授業２時間＋予習・復習１時間）×15回
実　　験（１単位）	45時間	（授業３時間＋予習・復習０時間）×15回

※法令の定めるところにより，いずれの授業科目も１単位の修得に45時間の学修が必要となります。

※一部の授業科目については，算定基準が異なる場合があります。詳しくは広島大学教養教育科目履修規則（p. 教養29～p. 教養31）を参照してください。

なお，原則として**同一授業科目を重複して履修することはできません。**ただし，以下の授業科目については，繰り返し履修し，一定の単位数まで単位を修得することができます。

【重複して履修可能で単位が認められる科目】

大学教育基礎科目	展開ゼミ
外国語科目	コミュニケーションⅠ，コミュニケーションⅡ， Advanced English for Communication，海外語学演習， ベーシック外国語（夜間授業時間帯），ベーシック日本語
健康スポーツ科目	スポーツ実習，スポーツ演習
社会連携科目	海外フィールドスタディ， 海外フィールドスタディ・アドバンスト， 国際交流スキルアップ演習Ａ，国際交流スキルアップ演習Ｂ， 国際交流スキルアップ演習Ｃ，国際交流スキルアップ演習Ｄ， オンライン国際協働演習（e-START）A， オンライン国際協働演習（e-START）B

３．その他

(1) 開設年次

授業科目ごとに設定される対象学年のことを，「開設年次」といいます。これは，学生にとって履修可能となる年次を意味します。例えば，開設年次「２」の授業科目の場合，３セメスターまたは４セメスターから履修することができます。

各授業科目により開設年次・開講学期が異なりますので，「令和７(2025)年度教養教育開設授業科目一覧」(p. 教養20～p. 教養28)，当該年度「教養教育科目授業時間割」または「My もみじ」などで確認してください。

(2) 指定授業時間

各学部，学科・類（系），コース・専攻，プログラム（以下「各学部等」といいます。）が履修基準表などで定めている必修科目，選択必修科目，履修することが望ましいとする一部の科目は，「教養教育科目授業時間割」の「指定授業時間割表」に示されています。これらの科目を履修する場合は，指定された曜日・時限に履修してください。

同一の指定授業科目を複数の教員が担当する場合は，「My もみじ」の「履修登録・参照」画面にある「教養教育科目指定クラス情報」により担当教員を確認してください。

(3) 修学上特別な配慮を必要とする学生の履修

修学上特別な配慮を必要とする学生は，総合科学部事務棟１階の教育推進グループ教養教育担当または所属学部の学生支援担当で履修の仕方について相談してください。

(4) ２年次生以降の履修上の注意点

次年度以降において，授業科目名が変更されることがあるので，「もみじ Top」の中にある教養教育ホームページ（https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/）などで「教養教育科目新旧対応表」を確認してください。

Ⅲ．授業科目の履修

１．平和科目

１）授業の目標

戦争・紛争，核廃絶，貧困，飢餓，人口増加，環境，教育，文化等の様々な観点から平和について自ら考え，理解を深めることを目標にしています。

＊平和科目群設置の目的：広島大学の理念５原則に「平和を希求する精神」が掲げられているように，学生には平和に対する意識の涵養が求められている。平和については，戦争の悲惨さを直視し，核廃絶を含む軍縮を展望する視点を育む必要性があることはいうまでもない。しかし，それ以外にも「貧困」,「飢餓」,「人口増加」,「環境」,「教育」,「文化」など多様な観点から広く平和を捉え直していくことも必要である。このような観点から「平和を考える」場を提供するために平和科目群を提示する。

２）授業の内容

それぞれの教員が，専門とする学問分野や視点から講義し，平和について考える場を提供します。すべての科目において，平和に関するモニュメントの見学や，平和に関する映像作品の視聴等を行った上で，授業担当教員から提示されるテーマ等に沿った「平和を考えるレポート」を提出することが義務付けられています。

３）履修上の注意事項

ａ．学部ごとに指定された時間帯から科目を選択して履修してください。

なお，指定時間帯，開講科目については，「教養教育科目授業時間割」または「Myもみじ」などで確認してください。

ｂ．修得可能な単位数は２単位（１科目）までです。

２．大学教育入門

１）授業の目標

大学で学ぶことの意義と目標を理解し，大学で学ぶ上で基本となる技能や態度を身につけることを目標にしています。

２）授業の内容

大学で何を学ぶのか，自分の目標を明確にするとともに，レポートの作成方法や，情報収集・発信をする時の倫理規範，他者との交流やかかわり方，大学の施設や各種制度などについて学習する科目です。

３）履修上の注意事項

学部ごとに指定された時間帯で履修してください。

なお，指定時間帯については，「教養教育科目授業時間割」または「My もみじ」で確認してください。

３．教養ゼミ

１）授業の目標

人類や社会が抱えてきた歴史的，現代的な課題に対して，証拠に基づき論理的に考え批判的に自身の思考を吟味する能力と，適切に自己表現を行う能力を身につけることを目標にしています。

２）授業の内容

高等学校までの受身の講義ではなく，大学生らしく自主的に学習し，積極的に発言していく態度を育む科目です。自主学習の姿勢，討論への参加，質疑応答などが評価されます。

全学生２単位必修です。原則として10名程度の少人数クラスで行いますが，多人数クラスで行う学部もあります。

３）履修上の注意事項

大学生としての自覚を持ち，自学自習とそこでの十分な思考と理解をもって教養ゼミに臨み，積極的に授業に参加してください。

授業の詳細については所属学部の指示に従ってください。

４．展開ゼミ

１）授業の目標

最先端のテーマについて学び討論したり，体験型の学習を行うことを通じて問題発見・解決能力を涵養するとともに，チャレンジ精神，プレゼンテーション力，リーダーシップ力などの向上を図ることを目標にしています。

２）授業の内容

「教養ゼミ」での学びを土台とし，社会における新たな価値創出や課題解決のための「総合知」を実践的に活用する場を提供します。テーマ別にゼミ形式の授業を開講し，学部・学年の枠を超えた少人数のクラスにおいて，最先端のテーマについて学び討論したり，体験型の学習を行います。

３）履修上の注意事項

a.　履修セメスターは学部によって異なります。また，テーマによっては対象学年が限定される場合があります。

b.　実施時期やテーマは授業ごとに異なります。詳細は「学生情報の森　もみじ」等でお知らせします。

c.　原則として10名以内のクラスで実施します。受講希望者多数の場合は，抽選又は受講動機による選抜を行うことがあります。

d.　修得した単位を卒業に必要な単位数（要修得単位数）に含めることができる場合があります。詳細は所属学部が定める履修基準表などを参照してください。

５．領域科目

１）授業の目標

人間が蓄積してきた知識がどのようにして生まれ，育ってきたのか，その根本の考え方は何であるのかについて，文化的・社会的・自然科学的な視点を踏まえながら，専門分野の枠を超えて共通に求められる知的な技法を学ぶことを目標にしています。

２）授業の内容

文明の継承と知的創造のために必要な基礎的知識を伝え，さまざまな学問領域についての知的関心を喚起する科目です。

それぞれの学問分野に基づいて，人文社会科学系科目群と自然科学系科目群の２つの科目群で構成されています。さらに，各科目群には，以下のとおり分類を設けています。

科目群	分　　類
人文社会科学系科目群	「哲学・倫理学・宗教学・芸術学」「人類学・地理学・歴史学」「文学・言語学」「法学・政治学・社会学・経済学・教育学」「心理学」
自然科学系科目群	「数学・情報学」「自然環境・社会基盤」「物理・天文・応用物理」「化学」「生物」「健康科学・医学情報」

３）履修上の注意事項

ａ．全学生共通して，人文社会科学系科目群４単位及び自然科学系科目群４単位の計８単位を修得する必要があります。より幅広い教養を身に付けるため，できるだけ異なる分類の科目を履修することが望まれます。領域科目では，各学部等に指定時間帯を設けており，指定時間帯で開講されている科目を，１科目（２単位）ずつ履修していけば，計８単位修得することが可能です。なお，他学部・他学科指定の時間帯を除き，所属学部・学科の指定時間帯以外で開講される領域科目を履修することも可能です。

ｂ．卒業に必要な単位数が８単位を超える学部もあります。また，必修科目，選択必修科目または履修することが望ましい科目は学部によって異なりますので，所属学部が定める履修基準等を参照してください。

ｃ．要修得単位数を超えて修得した領域科目のうち，使用言語が「英語」の授業科目の単位を外国語科目（英語）の単位数に算入できる場合があります。詳細は所属学部が定める履修基準表等を参照してください。

ｄ．指定時間帯，開講科目については，「教養教育科目授業時間割」または「Myもみじ」で確認してください。

６．外国語科目

授業の目標

グローバル化時代に対応するため，様々な言語で情報を受信し，発信できるコミュニケーション能力を養成し，知識・技能を修得するとともに，異なる言語や文化に対する理解を深めることを目標にしています。

（1）英　語

1）授業の内容

授業は原則として習熟度別のクラス編成になっています。

①　コミュニケーション基礎

WBT（Web-Based Training）による自学自習により，日常的・国際的な場面での英語コミュニケーションに必要となる語彙や文法（TOEIC（R）L＆Rテスト600点相当）を身に付けます。

a．コミュニケーション基礎Ⅰ（原則１セメスターに開講）

b．コミュニケーション基礎Ⅱ（原則２セメスターに開講）

②　コミュニケーションⅠ・Ⅱ

a．コミュニケーションⅠA，コミュニケーションⅠB（原則１セメスターに開講）

ⅠAでは「話す」，ⅠBでは「読む」を中心とした基礎的運用能力を養います。

b．コミュニケーションⅡA，コミュニケーションⅡB（原則２セメスターに開講）

ⅡAでは「書く」，ⅡBでは「聴く」を中心とした基礎的運用能力を養います。

③　コミュニケーション演習

日常的・国際的な場面において英語でコミュニケーションを行うための英語運用能力を養います。

コミュニケーション演習は，医学部医学科，歯学部歯学科，薬学部薬学科，薬学部薬科学科の学生を対象とした，コミュニケーション基礎に代わる科目です。

a．コミュニケーション演習Ⅰ

b．コミュニケーション演習Ⅱ

④　オンライン英語演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

コンピュータを利用し，上級の英単語など特定のテーマに沿って自学自習し，30時間分の学修を１単位とし，期末試験などにより単位の認定を行います。

履修手続の方法などの詳細は，シラバスを確認してください。

⑤　Advanced English for Communication

さまざまな言語活動を通じて，より高度な英語運用能力を養成することを目的とした授業です。

２）履修上の注意事項

①　英語の履修基準

所属学部が定める履修基準表などで,必修単位数と履修科目を確認してください。

また，学部等によっては,「オンライン英語演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び要修得単位数を超えて修得した領域科目及び社会連携科目のうち，使用言語が「英語」の授業科目の単位を英語の要修得単位数などに算入することができます。詳細は，所属学部が定める履修基準表などを参照してください。

②　正規の授業科目以外での単位の認定

TOEIC（R)，TOEFL（R)，IELTS 及び英検の外国語技能検定試験で一定の成績以上に達している場合は，別に定める基準により単位が認定されます。(p. 教養32～p. 教養38「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照してください。)

また，放送大学を利用した単位の認定も一部の学部で可能です。詳細は所属学部の学生支援担当で確認してください。

（2）初修外国語

「初修外国語」として，７つの言語－**アラビア語，ロシア語，中国語，韓国語，スペイン語，フランス語，ドイツ語**－を開設しています。

１）授業の内容

①　授業科目の種類

ａ．ベーシック外国語Ⅰ・Ⅱ（それぞれ１・２タームに開講，週２回）

発音・表記の基礎，基礎的な文法・文型，初歩的なコミュニケーション能力の修得を目標としています。

ｂ．ベーシック外国語Ⅲ・Ⅳ（それぞれ３・４タームに開講，週２回）

ベーシック外国語Ⅰ・Ⅱに引き続き，基礎的な文型・文法を学び，視聴覚教材などを活用して，初級レベルのコミュニケーション能力の修得を目標としています。

ｃ．初修外国語をさらに深く学びたい場合は,「ベーシック外国語」と合わせて「インテンシブ外国語」を履修することができます。

インテンシブ外国語ⅠＡ（１タームに開講，週２回）
インテンシブ外国語ⅠＢ（２タームに開講，週２回）
インテンシブ外国語ⅡＡ（３タームに開講，週２回）
インテンシブ外国語ⅡＢ（４タームに開講，週２回）

「インテンシブ外国語」と「ベーシック外国語」は連動しており，週４回の集中的な学習を行うことにより,「話す」「聞く」「読む」「書く」の実用的な４技能の修得を目標としています。インテンシブ外国語は，中国語，韓国語，スペイン語，フランス語，ドイツ語で開講しています。学部によっては，時間割の都合上，履修できないことがあるので注意してください。

週４回の授業を履修するので，集中的に実践的な外国語能力が身につきますが,それだけに受講生には積極的な授業への参加が求められます。

※中国語以外のインテンシブ外国語とそれに連動するベーシック外国語はすべての授業を東広島キャンパスにおいて対面式で受講しなければなりません。
※インテンシブ外国語は開講クラスが限られており定員があります。希望者が多い場合には抽選を行うことがあります。必要に応じて説明会を開きますので，必ず出席してください。

【参考】初修外国語の学習モデル

・ベーシック・コース（アラビア語，ロシア語，中国語，韓国語，スペイン語，フランス語，ドイツ語）

1年次前期		1年次後期	
第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
ベーシックⅠ（週2回）	ベーシックⅡ（週2回）	ベーシックⅢ（週2回）	ベーシックⅣ（週2回）

➡ 初級レベル修了

・インテンシブ・コース（中国語，韓国語，スペイン語，フランス語，ドイツ語）

1年次前期		1年次後期	
第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
ベーシックⅠ インテンシブⅠA（週4回）	ベーシックⅡ インテンシブⅠB（週4回）	ベーシックⅢ インテンシブⅡA（週4回）	ベーシックⅣ インテンシブⅡB（週4回）

➡ 中級レベル到達

・2年次以降「トライリンガル養成特定プログラム」➡ 中級レベル修了・上級レベルへ

ロシア，中国，韓国，スペイン，フランス，ドイツにおいて，本学又はその国の教育機関が運営する当該言語の語学研修に参加し，一定の条件を満たした場合は，「海外語学演習」の単位に読み替えることができます。詳細については，「海外語学演習」のシラバスを確認してください。

2）履修上の注意事項

① 初修外国語の履修基準

各学部等によっては，選択可能な言語や修得すべき言語，単位数が指定されている場合があるので，所属学部が定める履修基準表などを確認してください。

② 正規の授業科目以外での単位の認定

各言語の外国語技能検定試験で一定の成績以上に達している場合は，別に定める基準により単位が認定されます。（p. 教養32～p. 教養37「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照してください。）詳細は所属学部の学生支援担当で確認してください。

③ その他の注意事項

a．ベーシック外国語Ⅰで選んだものと同じ外国語を，ベーシック外国語Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでも履修してください。

b．開講時間帯は「教養教育科目授業時間割」の「指定授業時間割表」などを参照してください。

c．留学などを通じて，すでに以下のレベルに到達している場合は，別の言語の履修にチャレンジすることが推奨されます。

言語	外国語技能検定試験等	級位・得点
ドイツ語	ドイツ語技能検定	3級以上
	Österreichisches Sprachdiplom Deutsch	A2以上
	Goethe-Zertifikat	A2以上
フランス語	フランス語技能検定	3級以上
	DELF/DALF	A1以上
	TCF フランス語能力テスト	100以上
	TEF パリ商工会議所フランス語能力認定試験	69以上
中国語	中国語検定試験	3級以上
	HSK	4級以上
韓国語	韓国語能力試験（TOPIK）	5級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	4級以上
	DELE	A2以上

7．情報・データサイエンス科目

1）授業の目標

高度情報化社会の中でデータを活用していくのに必要となる基礎的な知識や技能を修得し，その有用性と問題点，情報倫理上の課題を理解し，活用する能力を身につけさらに，将来，新しく現れる技術にも対応しようとする態度を養うことを目標にしています。

2）授業の内容

「情報・データ科学入門」

全ての科目受講の基礎となる，情報科学とデータサイエンスに関する基礎的知識・技能を解説します。

「データサイエンス基礎」

標本と母集団，確率分布や統計的手法などのデータサイエンスに関する初歩的な内容を解説し，簡単なデータ分析を行います。

「ゼロからはじめるプログラミング」

プログラミングの基礎を学び，コンピュータを活用する知識や技能を解説します。

「コンピュータ・プログラミング」

プログラミング初学者を想定し，プログラミングの基本を解説します。

「知能とコンピュータ」

人工知能の構成とその特性を考察することにより，人間の知識，創造性，思考力とは何かという問いに対する各自の解答作成を試みます。

「教育のためのデータサイエンス」

教育現場におけるデータの扱い方を通じて，教員を目指している人が学ぶべきリテラシーレベルのデータサイエンスについて解説します。

３）履修上の注意事項

①　情報・データサイエンス科目の履修基準

各学部等によって，履修基準（必修科目，選択科目，卒業に必要な単位数等）が異なりますので，所属学部が定める履修基準表などを参照してください。

②　その他の注意事項

「情報・データ科学入門」は１週目から授業を行います。

日時，教室はあらかじめ教養教育ホームページまたは「My もみじ」に掲示します。各学部等によって日時，教室が異なりますので注意してください。(「教養教育科目授業時間割」の「指定授業時間割表」も参照してください)

また，初回授業時に，コンピュータ利用経験についてアンケートを行い，その結果に基づいて，クラス編成を行う場合があります。この場合，クラスによって，２週目に行くべき教室が異なりますので，教養教育ホームページまたは「My もみじ」の掲示を必ず確認してください。

８．健康スポーツ科目

１）授業の目標

体力・健康づくりのための科学的理論を修得するとともに，自己の特性やスポーツの技能水準に適合したスポーツの実践を通じて，生涯にわたってスポーツを楽しむ態度・マナーや協調性などの社会的技能を修得することを目標にしています。

２）授業の内容

生涯にわたり健康を考える科目として，講義科目と実習科目と演習科目をまとめて１つの科目区分として提供します。講義科目には「健康スポーツ科学」，実習科目には「スポーツ実習Ａ」,「スポーツ実習Ｂ（主として障害のある学生及び有疾患学生対象)」，実習と講義を合わせた演習科目には「スポーツ演習」があります。

３）履修上の注意事項

ａ．各学部等によって，履修基準（必修科目，選択科目，卒業に必要な単位数等）が異なりますので，所属学部が定める履修基準表などを参照してください。

ｂ．「スポーツ実習Ａ」,「スポーツ実習Ｂ」及び「スポーツ演習」は，同じ教員や種目，授業科目名であっても繰り返し履修することができます。ただし，１年次については，１・２タームで１科目のみ，３・４タームで１科目のみしか履修することができません（集中講義を除く)。

ｃ．「スポーツ実習Ａ」,「スポーツ実習Ｂ」及び「スポーツ演習」は，初回にガイダンスを行います。ガイダンスの場所，服装，シューズの準備などについては，各科目のシラバス及び教養教育ホームページなどにより指示します。

ｄ．集中講義のガイダンス日程は別途掲示等で指示します。

９．社会連携科目

１）授業の目標

社会における多様性を理解し，実践することを通して，社会で生き，活躍するために必要な力を高めることを目標にしています。

２）授業の内容

職場や地域社会で多様な人々と連携し協同するために必要な「社会人基礎力」を育む科目です。ボランティア教育やキャリア教育に関する科目などがあります。

３）履修上の注意事項

各学部等によって，履修基準（必修科目，選択科目，卒業に必要な単位数等）が異なりますので，所属学部が定める履修基準表などを参照してください。

また，要修得単位数を超えて修得した社会連携科目のうち，使用言語が「英語」の授業科目の単位を外国語科目（英語）の単位数に算入できる場合があります。詳細は所属学部が定める履修基準表等を参照してください。

10．基盤科目

１）授業の目標

専門教育との有機的関連性を持つ前専門教育として，それぞれの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識の学習により，基礎学問の論理的骨格や体系及び学問形成に必要な知識・技術を修得することを目標にしています。

２）授業の内容

各専門分野における論理的骨格や学問形成に必要不可欠な基礎的知識と技術を修得する科目です。高等学校などで学んでいない学生を対象とした基礎的な内容を含む科目も開設しています（「初修物理学」,「初修生物学」など）。

３）履修上の注意事項

基盤科目として卒業に必要な授業科目と単位数は，所属学部が定める履修基準表などに記載されています。それら以外の基盤科目については，卒業に必要な単位数に含まれない場合があります。

Ⅳ．履修に関する手続・相談等

１．履修手続

所属学部が定める履修基準表などに基づき，「教養教育科目授業時間割」及びシラバスなどを参照しながら履修計画を作成し，履修を希望する授業科目は履修手続期間内に履修手続を完了してください。なお，同学期（１タームと２ターム，３タームと４ターム）で開講されている同一授業科目を重複して履修することはできません。また，受講者定員を超過した授業科目については受講者抽選を行いますので，その結果を必ず「My もみじ」で確認してください。

履修手続を行っていない授業科目については，授業に全て出席し期末試験を受験しても，単位を修得することはできません。

各授業科目の履修手続の詳細については，各ターム開始前に「My もみじ」で通知しますので，確認してください。

２．履修相談

教養教育科目の履修に関する質問・相談は，教育推進グループ教養教育担当及び霞地区運営支援部学生支援グループ（学生生活・教養担当）で受け付けています。また，学部が定める履修基準などに関する質問・相談については，所属学部の学生支援担当に相談してください。

連絡先などは p. 教養50を参照してください。

※病気等で授業を欠席する場合について

教養教育において病気その他のやむを得ない事由により２週間以上欠席する場合は，所属学部の学生支援担当に事由を証明する書類（診断書など）を添えて，欠席届を提出してください。２週間未満の場合は，各授業担当教員へ申し出てください。

なお，教育実習・介護等体験により欠席する場合の欠席届は別に定めています。

また，病気等で試験を欠席する場合の対応は，p. 教養19の「４．追試験」の項を参照してください。

これら履修手続など，教養教育に関する様々な情報は，教養教育ホームページ（https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/）でも確認できます。

●「学生情報の森　もみじ」について

「学生情報の森　もみじ」は広島大学で学び，生活するために必要な情報を提供するシステムです。イベント情報やサークル情報，その他手続きに関する情報など，誰でも自由に閲覧可能な「もみじ Top」と，広大 ID・広大パスワードでログイン後に利用する「My もみじ」から構成されています。

(1) 広大 ID と広大パスワード

広大 ID と広大パスワードの認証を受けて利用する「My もみじ」のサービスには，住所や成績等の個人情報の参照，履修科目の登録・変更等の手続が含まれます。第三者によるなりすましを防ぎ，安全な学生生活を送るためにも，広大 ID と広大パスワードは適切に管理してください。

(2) 掲示，休講補講教室変更，試験情報

各種通知やお知らせ掲示，休講・補講，試験情報やその他授業に関する連絡事項など，学生生活に関する多くの情報は「My もみじ」に掲示されます。重要な情報を見逃さないよう，毎日「My もみじ」にログインして確認してください。

(3) 履修

学生は設定された期間に「My もみじ」から履修する科目を登録します。設定された期間以外は登録できません。登録可能な期間は「もみじ Top」でお知らせします。一部の授業では履修学生の調整を行うこともあるので，その指示に従ってください。「My もみじ」からシラバスを参照することもできます。（p. 教養15参照）

(4) 学籍情報

所属，住所，父母等の住所，電話番号などの情報が掲載されています。これらの情報はチューターの学生指導，事務職員による緊急を要する場合の連絡などに利用するため，変更などがあった際には所属学部の学生支援室へ速やかに届け出てください。なお，メールアドレス，携帯電話番号，電話番号は，学内ネットワーク（HINET）からアクセスしている場合「My もみじ」から変更可能です。

(5) 成績

学生は各自の成績を参照することができます。学部によっては，チューター，指導教員による面談及び承認が必要になります。（p. 教養19参照）

(6) アンケート

「My もみじ」から簡単に回答できるアンケート機能があり，授業改善につながる授業改善アンケートなどが行われます。

(7)「My もみじ」へのアクセス

「My もみじ」は，学内外のネットワークに繋がったパソコン，タブレット端末及びスマートフォンからアクセスできます。なお，学生情報，成績情報等，個人情報が含まれる情報は学内ネットワークを利用してアクセスした時のみ参照可能です。

(8)「学生情報の森　もみじ」の利用可能時間について

「学生情報の森　もみじ」は24時間利用できますが，メンテナンス等によりシステムを一時停止することがあります。その場合は，「もみじ Top」の「システム運用のお知らせ」で通知します。

(9) その他の注意について

その他「My もみじ利用上の注意」を下記 URL に掲載しています。必ず一読した上でご利用ください。

https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/information/attention.html

なお，もみじやＥメールなどのネットワークを利用する上でのモラルや注意点については，「大学教育入門」の授業の中で説明があります。

また，学生生活の手引「コンピュータ関係のトラブル防止」にも記載されています。これらの内容をよく理解した上でパソコンやネットワークを利用してください。

Ⅴ．試験及び成績

１．期末試験

ａ．通常，15回の授業が実施された後に期末試験が行われます。すべての授業に出席することを心がけてください。

ｂ．出席回数が授業実施時数の３分の２に満たない学生は，期末試験の受験を認めません。ただし，所定の手続を経て欠席した場合で，その理由が病気その他やむを得ない事情のときは，授業担当教員の判断により受験が認められることがあります。

ｃ．試験実施日程や時間等の詳細については別途通知されます。

２．試験時の主な注意事項

［対面による試験について］

ａ．受験に際しては，必ず学生証を机上に掲示してください。

ｂ．学生証を携帯していない学生は受験できませんので，試験開始前に所定の手続きを行ってください。

ｃ．遅刻した学生は，試験室の入室を許可されない場合があります。

ｄ．試験開始後30分を経過しなければ，試験室からの退室は許可されません。

ｅ．答案用紙は，試験室外へ持ち出すことはできません。

ｆ．携帯電話・スマートフォン等のモバイル機器は電源を切り，カバンの中に入れておいてください。時計代わりに使用することはできません。

ｇ．携帯電話・スマートフォン等試験に必要ないものを机上に置いている，または使用している場合は**不正行為**と認定する場合があります。

ｈ．その他，試験中は監督の指示に従ってください。

［オンラインによる試験について］

ａ．受験に際しては，本人確認のため，学生番号が必要となる場合があるので学生証を準備しておいてください。

ｂ．受験時に，システム等のログイン操作を求められた場合は，必ず，本学で発行される自身のIDやアカウントでログインしてください。

ｃ．試験開始前に，周囲に人がいないことを確認してください。

ｄ．遅刻した学生は，受験が認められない場合があります。

ｅ．受験に必要ないものを周囲に置いている，または使用している場合は不正行為と認定する場合があります。

ｆ．その他，試験中は監督者の指示に従ってください。

３．不正行為

教養教育科目の期末試験等で不正行為を行った学生は，その期に履修している教養教育科目（教養ゼミを除く）の評価をすべて「不可（Ｄ）」とし，あわせて「広島大学学生懲戒規則」により厳正な措置がとられます。

４．追試験

病気その他やむを得ない事情により，期末試験等の一部ないし全部を受験できなかった場合は，追試験を受験することができます。追試験の受験を希望する場合は，所定の**追試験受験願**とその理由を客観的に証明する書類（診断書等）を添えて，当該授業科目の試験実施後１週間以内に所属学部の学生支援担当へ申請してください（法学部昼間コース，医学部，歯学部，薬学部の１年次生は教育推進グループ（教養教育担当）及び霞地区運営支援部学生支援グループ（学生生活・教養担当）でも手続可能です。）。**追試験受験願**の受理以降は，授業担当教員の指示に従ってください。

詳細は，**広島大学教養教育科目履修規則**の第８条（p. 教養30）を参照してください。

５．試験等の特別措置

身体等の障害のために期末試験等を通常の条件のもとで受けることが難しい学生は，所属学部の学生支援担当に特別措置を申請することができます。

詳細については，**「身体等に障害のある学生に対する試験等における特別措置について」**（学部規則）を参照してください。

６．成績

a．学業成績の評価は，試験，レポート及び授業への参加態度等によって判定します。成績は，別に定めるガイドラインに基づき，秀（S），優（A），良（B），可（C）及び不可（D）の５段階で厳格に評価され，秀，優，良，可を合格とします。

b．成績の発表については，所属学部等の指示に従ってください。なお，ターム科目であってもセメスター科目と同時期に発表されます。

c．成績評価に疑義のある場合は，異議申立書を提出することで確認ができます。異議申立書を提出する場合は，成績発表日から次のタームの履修手続期間終了日までに「成績評価に対する異議申立書」に必要事項を記入し，学業成績証明書を添付の上，教育推進グループ教養教育担当（法学部昼間コース・医学部・歯学部・薬学部の学生は霞地区運営支援部学生支援グループ（学生生活・教養担当），法学部・経済学部夜間主コースの学生は東千田地区支援室（学生支援担当））に申し出てください。

なお，詳細は下記 URL に掲載しています。

https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/post_4.html

Ⅵ．令和7(2025)年度教養教育開設授業科目一覧

各科目の開講時期，開講キャンパス，授業内容等の詳細は，「教養教育科目授業時間割」及びシラバスなどで確認してください。

１．昼間授業時間帯に開設する授業科目

科目区分				授業科目	開設単位数	開設年次	備考
平和科目				広島と平和	2	1	
				ヒロシマ発平和学	2	1	
				平和と人間Ａ－環境と生物の未来へ－	2	1	
				平和と人間Ｂ－人間と文化の未来へ－	2	1	
				平和と人間Ｃ－広島で学ぶ（原爆とは何だったか）－	2	1	
				文学と芸術から考える核時代	2	1	
				戦争と平和に関する学際的考察	2	1	
				飢餓・貧困・環境問題からみた平和学	2	1	
				環境と平和	2	1	
				国際関係論	2	1	
				医学からみた戦争と平和	2	2	
				世界の紛争と平和	2	1	
				暴力の比較宗教学	2	1	
				核時代の科学と社会	2	1	
				放射線と自然科学	2	1	
				安全な社会環境の構築をめざして	2	1	
				広島の歴史と国際社会	2	1	
				霞キャンパスからの平和発信	2	2	
				ひろしま平和共生リーダー概論	2	1	
				国際平和への記憶学	2	1	
				ポストコロニアルと平和	2	1	
				広島大学のめざす国際平和	2	1	
				平和の人類学	2	1	
				沖縄と平和	2	1	
				Visualization of War	2	1	
				軍縮と平和・安全保障	2	1	
大学教育基礎科目	大学教育入門			大学教育入門	2	1	
	教養ゼミ			教養ゼミ	2	1	
	展開ゼミ			展開ゼミ	(1)	1	
共通科目	領域科目	人文社会科学系科目群	哲学・倫理学・宗教学・芸術学	哲学Ａ	2	1	
				哲学Ｂ	2	1	
				Aesthetics, Philosophy of Sensibility	2	1	
				哲学の世界	2	1	
				東洋の思想	2	1	
				Introduction to Japanese Thought	2	1	
				倫理学	2	1	
				南アジア宗教論	2	1	
				キリスト教学Ａ	2	1	
				キリスト教学Ｂ	2	1	
				比較宗教学	2	1	
				Japanese Religion A	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				Japanese Religion B	2	1	
				芸術学Ａ	2	1	
				芸術学Ｂ	2	1	
				合唱Ａ	1	1	
				合唱Ｂ	1	1	
				吹奏楽Ⅰ	1	1	
				吹奏楽Ⅱ	1	1	

（注１）開設単位数（修得可能な上限単位数）と開講単位数（１科目当たりの単位数）が異なる授業科目については，（　）で開講単位数を表示している。なお，展開ゼミ，スポーツ実習Ａ，スポーツ実習Ｂ及びスポーツ演習については，開講単位数のみ設定している（上限単位数の設定なし）。

（注２）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

科目区分				授業科目	開設単位数	開設年次	備考
共通科目	領域科目	人文社会科学系科目群	人類学・地理学・歴史学	アジアの近現代	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				アジアの社会史	2	1	
				アジア史Ａ	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				アジア史Ｂ	2	1	
				Politics and Society in Europe	2	1	
				ヨーロッパ史Ａ	2	1	
				ヨーロッパ史Ｂ	2	1	
				広島大学の歴史	2	1	
				日本の歴史と文化	2	1	
				日本現代史	2	1	
				アメリカ現代史	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				日本史Ａ	2	1	
				日本史Ｂ	2	1	
				科学史Ａ	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				科学史Ｂ	2	1	
				技術史Ａ	2	1	
				技術史Ｂ	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				環境観と環境問題	2	1	
				観光地理学	2	1	
				人文地理学	2	1	
				地域地理学	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				Regional Geography of Japan	2	1	
				地理・考古・文化財の世界	2	1	
				文化人類学Ａ	2	1	
				文化人類学Ｂ	2	1	
				Cultural Anthropology	2	1	
				Introduction to Media Studies	2	1	
				Contemporary World Issues	2	1	
				Contemporary Issues of Japan	2	1	
				Anthropology of Media	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				Introduction to Tourism Studies	2	1	
				Introduction to Cultural Anthropology	2	1	
			文学・言語学	人文学入門Ａ	2	1	
				人文学入門Ｂ	2	1	
				中国語圏の現代文化	2	1	
				中国語圏の伝統文化	2	1	
				英語圏の文学と社会	2	1	
				日本の文学（古典）	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				日本の文学（近現代）	2	1	
				日本の言語（古典）	2	1	
				文学の世界	2	1	
			法学・政治学・社会学・経済学・教育学	自動車産業と日本経済	2	1	
				現代社会と経済	2	1	
				現代社会と産業	2	1	令和７(2025)年度は開講しません。
				グローバル経済と環境権	2	1	
				社会経済統計論	2	1	
				Contemporary Economic Issues I	2	1	
				Contemporary Economic Issues II	2	1	
				現代社会学Ａ	2	1	
				現代社会学Ｂ	2	1	
				社会的なものと人間	2	1	
				生活をとりまく家族・地域・産業	2	1	
				Introduction to Statistics and Quantitative Sociology	2	1	
				現代社会と農山村	2	1	
				政治の世界	2	1	
				人の生と死をめぐる法と社会	2	1	
				日本国憲法	2	1	
				Law and Politics I	2	1	
				Law and Politics II	2	1	

（注１）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

科目区分				授業科目	開設単位数	開設年次	備考
共通科目	領域科目	人文社会科学系科目群	法学・政治学・社会学・経済学・教育学	Introduction to Japanese Legal System	1	1	
				Introduction to International Cooperation	2	1	
				教育と人間	2	1	
				教育と制度	2	1	
				大学と学生	2	1	
				Multiculturalism in Education	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。
				Learning Hiroshima: Intercural Field work (地域社会を学ぶ：異文化間フィールドワーク)	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。
				持続可能な開発と教育	2	1	
				教養としての金融	2	1	
			心理学	行動の科学	2	1	
				心の健康	2	1	
				心理学概論A	2	1	
				心理学概論B	2	1	
				睡眠の科学	2	1	
				心理学の最前線	2	1	
				心と社会	2	1	
		自然科学系科目群	数学・情報学	思考と情報のデザイン	2	1	
				数学の世界	2	1	
				数理科学で考える	2	1	
			自然環境・社会基盤	自然環境形成論	2	1	
				自然災害と防災	2	1	
				水・物質循環の科学	2	1	
				物質循環と地球環境	2	1	
				地球と生物	2	1	
				地球科学A	2	1	
				地球科学B	2	1	
				環境と開発	2	1	
				世界の人々の暮らし・安全・安心を支える海洋・海事	2	1	
			物理・天文・応用物理	天文学	2	1	
				物理の視点A	2	1	
				物理の視点B	2	1	
				物理入門	2	1	
				Introduction to physical mathematics	2	1	
				Principles of Physics	2	1	
				Methods of Physics	2	1	
				Introduction to Mechanical Engineering	2	1	
				産業と技術	2	1	
				乗り物と輸送の科学	2	1	
				機械システムの設計と最適化	2	1	
				社会の中における工学	2	1	
				燃料・燃焼と現代社会	2	1	
				原発の哲学	2	1	
			化学	いのちを支える酵素－生命科学への招待－	2	1	
				環境と化学	2	1	
				文理科学コラボレーション	2	1	
				Modern Chemistry	2	1	
				Fundamental Chemistry A	2	1	
				Fundamental Chemistry B	2	1	
				Chemistry of Life	2	1	
				Introduction to Applied Chemistry, Chemical Engineering, and Biotechnology	2	1	
			生物	生物の世界	2	1	
				生物学からみたストレス	2	1	
				釣りの科学－魚と人間のインターラクション－	2	1	
				微生物の世界	2	1	
				Introduction to Biology	2	1	
				両生類から見た生命システム	2	1	
				脳と行動	2	1	
				分子から生命へ	2	1	

（注１）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

科目区分				授業科目	開設単位数	開設年次	備考
共通科目	領域科目	自然科学系科目群	生物	フィールド科学入門	2	1	
				食の安心・安全と健康科学	2	1	
				Food and Life Science	2	1	
				SDGs に向けた生物生産学入門	2	1	
				Human and Ecological Systems in Transition	2	1	
				食文化論	2	1	
				環境と森林	2	1	
				東広島キャンパスの自然環境管理	2	1	
				自然科学研究の倫理と法令	2	1	
				生活の中の遺伝と突然変異	2	1	
				チョコレートの総合科学	2	1	
			健康科学・医学情報	脳のはたらき	2	1	
				全身の健康と口腔科学Ⅰ	2	1	
				全身の健康と口腔科学Ⅱ	2	1	
				人の健康と社会	2	1	
				ヒトと微生物の関わり	2	1	
				サイエンス入門	2	1	
	外国語科目	英語	コミュニケーション基礎	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	1	
				コミュニケーション基礎Ⅱ	1	1	
			コミュニケーションⅠ	コミュニケーションⅠA	3(1)	1	
				コミュニケーションⅠB	3(1)	1	
			コミュニケーションⅡ	コミュニケーションⅡA	3(1)	1	
				コミュニケーションⅡB	3(1)	1	
				オンライン英語演習Ⅰ	1	1	
				オンライン英語演習Ⅱ	1	1	
				オンライン英語演習Ⅲ	1	1	
				コミュニケーション演習Ⅰ	1	1	
				コミュニケーション演習Ⅱ	1	1	
				Advanced English for Communication	2(1)	1	
		初修外国語	ベーシック外国語	ベーシック・ドイツ語Ⅰ	1	1	
				ベーシック・ドイツ語Ⅱ	1	1	
				ベーシック・ドイツ語Ⅲ	1	1	
				ベーシック・ドイツ語Ⅳ	1	1	
				ベーシック・フランス語Ⅰ	1	1	
				ベーシック・フランス語Ⅱ	1	1	
				ベーシック・フランス語Ⅲ	1	1	
				ベーシック・フランス語Ⅳ	1	1	
				ベーシック・スペイン語Ⅰ	1	1	
				ベーシック・スペイン語Ⅱ	1	1	
				ベーシック・スペイン語Ⅲ	1	1	
				ベーシック・スペイン語Ⅳ	1	1	
				ベーシック・ロシア語Ⅰ	1	1	
				ベーシック・ロシア語Ⅱ	1	1	
				ベーシック・ロシア語Ⅲ	1	1	
				ベーシック・ロシア語Ⅳ	1	1	
				ベーシック・アラビア語Ⅰ	1	1	
				ベーシック・アラビア語Ⅱ	1	1	
				ベーシック・アラビア語Ⅲ	1	1	
				ベーシック・アラビア語Ⅳ	1	1	
				ベーシック中国語Ⅰ	1	1	
				ベーシック中国語Ⅱ	1	1	
				ベーシック中国語Ⅲ	1	1	
				ベーシック中国語Ⅳ	1	1	
				ベーシック韓国語Ⅰ	1	1	
				ベーシック韓国語Ⅱ	1	1	
				ベーシック韓国語Ⅲ	1	1	
				ベーシック韓国語Ⅳ	1	1	
			インテンシブ外国語	インテンシブ・ドイツ語ⅠA	1	1	
				インテンシブ・ドイツ語ⅠB	1	1	

（注１）開設単位数（修得可能な上限単位数）と開講単位数（１科目当たりの単位数）が異なる授業科目については，（　）で開講単位数を表示している。
（注２）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

科目区分				授業科目	開設単位数	開設年次	備考
共通科目	外国語科目	初修外国語	インテンシブ外国語	インテンシブ・ドイツ語ⅡA	1	1	
				インテンシブ・ドイツ語ⅡB	1	1	
				インテンシブ・フランス語ⅠA	1	1	
				インテンシブ・フランス語ⅠB	1	1	
				インテンシブ・フランス語ⅡA	1	1	
				インテンシブ・フランス語ⅡB	1	1	
				インテンシブ・スペイン語IA	1	1	
				インテンシブ・スペイン語IB	1	1	
				インテンシブ・スペイン語IIA	1	1	
				インテンシブ・スペイン語IIB	1	1	
				インテンシブ中国語ⅠA	1	1	
				インテンシブ中国語ⅠB	1	1	
				インテンシブ中国語ⅡA	1	1	
				インテンシブ中国語ⅡB	1	1	
				インテンシブ韓国語ⅠA	1	1	
				インテンシブ韓国語ⅠB	1	1	
				インテンシブ韓国語ⅡA	1	1	
				インテンシブ韓国語ⅡB	1	1	
				海外語学演習（ドイツ語）	4(1～4)	1	
				海外語学演習（フランス語）	4(1～4)	1	
				海外語学演習（スペイン語）	4(1～4)	1	
				海外語学演習（ロシア語）	4(1～4)	1	
				海外語学演習（中国語）	4(1～4)	1	
				海外語学演習（韓国語）	4(1～4)	1	
		日本語		ベーシック日本語Ⅰ	3(1)	1	
				ベーシック日本語Ⅱ	3(1)	1	
				ベーシック日本語Ⅲ	3(1)	1	
				ベーシック日本語Ⅳ	3(1)	1	
	情報・データサイエンス科目			情報・データ科学入門	2	1	
				データサイエンス基礎	2	1	
				ゼロからはじめるプログラミング	2	1	
				教育のためのデータサイエンス	2	1	
				コンピュータ・プログラミング	2	1	
				知能とコンピュータ	2	1	
	健康スポーツ科目			健康スポーツ科学	2	1	
				スポーツ実習A	(1)	1	
				スポーツ実習B	(1)	1	
				スポーツ演習	(1)	1	講義10時間と実習10時間の授業で1単位とする。
	社会連携科目			学生生活概論－生き方と暮らし方のヒント－	2	1	
				障害学生支援ボランティア実習A	1	1	
				障害学生支援ボランティア実習B	1	1	
				INU Special Intensive Course	2	1	
				国際交流スキルアップ演習A	2(1)	1	
				国際交流スキルアップ演習B	2(1)	1	
				国際交流スキルアップ演習C	2(1)	1	
				国際交流スキルアップ演習D	2(1)	1	
				ジェンダーと社会	2	1	
				ダイバーシティ概論	2	1	
				キャリアマネジメント概論	2	1	
				地域社会探検プロジェクト－インターンシップ・ボランティアを体験してみよう－	2	1	講義20時間と実習30時間の授業で2単位とする。
				キャリアマネジメント講座－先輩プロフェッショナルが「あなたの未来」のために語る－	2	1	
				ワークルールと年金・社会保険のしくみ	2	1	
				Academic Writing Ⅰ	2	1	
				Academic Writing Ⅱ	2	1	
				英語によるレポート・論文の書き方	1	1	

（注１）開設単位数（修得可能な上限単位数）と開講単位数（１科目当たりの単位数）が異なる授業科目については，（　）で開講単位数を表示している。なお，展開ゼミ，スポーツ実習 A，スポーツ実習 B 及びスポーツ演習については，開講単位数のみ設定している（上限単位数の設定なし）。

（注２）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

科目区分		授業科目	開設単位数	開設年次	備考
共通科目	社会連携科目	アントレプレナーシップ	2	1	
		ビジネスクリエーション	2	1	
		地域おこし実習－田舎から始めるライフスタイルベンチャーの探求	2	1	
		Technology Marketing	2	1	
		東広島日本酒学	1	1	
		海外フィールドスタディ	4(2)	1	講義20時間と演習44時間の授業で2単位とする。
		海外フィールドスタディ・アドバンスト	4(2)	1	講義20時間と演習44時間の授業で2単位とする。
		海外派遣・留学入門	1	1	
		オンライン国際協働演習（e－START）A	8(1)	1	講義10時間と演習10時間の授業で1単位とする。
		オンライン国際協働演習（e－START）B	8(2)	1	講義20時間と演習20時間の授業で2単位とする。
		海外短期研修（START）A	1	1	講義5時間と実習20時間の授業で1単位とする。
		海外短期研修（START）B	2	1	講義5～10時間と実習40～50時間の授業で2単位とする。
		海外短期研修（START）C	3	1	講義5～10時間と実習70～80時間の授業で3単位とする。
		海外短期研修（START＋）	2	1	講義5～10時間と実習40～50時間の授業で2単位とする。
		カーボンニュートラルを推進するビジネス	2	1	
		カーボンニュートラル推進科学	2	1	
		広島と世界を結ぶ半導体	2	1	
		金融リテラシー講座－将来へのキャリアとライフプランニング－	2	1	
基盤科目		ミクロ経済学入門	2	1	
		マクロ経済学入門	2	1	
		医療従事者のための心理学	2	1	
		基礎微分積分学	2	1	
		基礎線形代数学	2	1	
		微分積分通論	2	1	
		微分積分学Ⅰ	2	1	
		微分積分学Ⅱ	2	1	
		数学演習Ⅰ	1	1	
		数学演習Ⅱ	1	1	
		線形代数学Ⅰ	2	1	
		線形代数学Ⅱ	2	1	
		線形代数学演習Ⅰ	1	1	
		線形代数学演習Ⅱ	1	1	
		地学実験法・同実験Ⅰ	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
		地学実験法・同実験Ⅱ	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
		初修物理学	2	1	
		基礎物理学Ⅰ	2	1	
		基礎物理学Ⅱ	2	1	
		一般力学Ⅰ	2	1	
		一般力学Ⅱ	2	1	
		基礎電磁気学	2	1	
		物理学実験法・同実験Ⅰ	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
		物理学実験法・同実験Ⅱ	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
		新入生のための物理学入門	2	1	
		初修化学	2	1	
		一般化学	2	1	
		有機化学	2	1	
		化学実験法・同実験Ⅰ	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。

（注１）開設単位数（修得可能な上限単位数）と開講単位数（１科目当たりの単位数）が異なる授業科目については，（　）で開講単位数を表示している。
（注２）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

科　目　区　分	授　業　科　目	開設単位数	開設年次	備　　考
基　盤　科　目	化学実験法・同実験 II	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
	化学実験ベーシック	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
	初修生物学	2	1	
	細胞科学	2	1	
	生態学	2	1	
	種生物学	2	1	
	生物学実験法・同実験 I	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
	生物学実験法・同実験 II	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
	Development of International Collaboration in Medical Science	2	1	
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science A	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。
	Experimental Methods and Laboratory Work in Science B	1	1	講義8時間と実験24時間の授業で1単位とする。

（注１）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

２．夜間授業時間帯に開設する授業科目

科目区分				授業科目	開設単位数	開設年次	備考	昼間授業時間帯開設授業科目
平和科目				平和と人間Ｃ－広島で学ぶ（原爆とは何だったか）－	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	平和と人間Ｃ－広島で学ぶ（原爆とは何だったか）－
				平和と人間Ｄ－広島から未来に向けて－	2	1		（対応科目なし）
				ヒロシマ発平和学	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	ヒロシマ発平和学
大学教育基礎科目	大学教育入門			大学教育入門	2	1		大学教育入門
	教養ゼミ			教養ゼミ	2	1		（対応科目なし）
	展開ゼミ			展開ゼミ	(1)	1		展開ゼミ
共通科目	領域科目	人文社会科学系科目群	哲学・倫理学・宗教学・芸術学	哲学Ａ	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	哲学Ａ
				倫理学	2	1		倫理学
				キリスト教学Ａ	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	キリスト教学Ａ
				キリスト教学Ｂ	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	キリスト教学Ｂ
			人類学・地理学・歴史学	アジア史Ａ	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	アジア史Ａ
				アジア史Ｂ	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	アジア史Ｂ
				ヨーロッパ史	2	1		ヨーロッパ史Ａ
				アメリカ現代史	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	アメリカ現代史
				科学技術史	2	1		（対応科目なし）
				地域地理学	2	1		地域地理学
				日本史Ａ	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	日本史Ａ
				日本史Ｂ	2	1		日本史Ｂ
				文化人類学	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	文化人類学Ａ
			文学・言語学	日本の文学（古典）	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	日本の文学（古典）
				日本の文学（近現代）	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	日本の文学（近現代）
			法学・政治学・社会学・経済学・教育学	社会学の視点	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	現代社会学Ａ
				日本国憲法	2	1		日本国憲法
			心理学	心理学概論	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	（対応科目なし）
		自然科学系科目群	数学・情報学	統計学への招待	2	1		（対応科目なし）
			自然環境・社会基盤	地球とその環境	2	1		（対応科目なし）
			物理・天文・応用物理	物理入門	2	1		物理入門
			化学	化学と人間	2	1		（対応科目なし）
			生物	食文化論	2	1		食文化論
				生物学	2	1	令和7(2025)年度は開講しません。	（対応科目なし）
	外国語科目	英語	コミュニケーション基礎	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	1	令和7(2025)年度は開講しません。	コミュニケーション基礎Ⅰ
				コミュニケーション基礎Ⅱ	1	1	令和7(2025)年度は開講しません。	コミュニケーション基礎Ⅱ
			コミュニケーションⅠ	コミュニケーションⅠＡ	3(1)	1		コミュニケーションⅠA
				コミュニケーションⅠＢ	3(1)	1		コミュニケーションⅠB
			コミュニケーションⅡ	コミュニケーションⅡＡ	3(1)	1		コミュニケーションⅡA
				コミュニケーションⅡＢ	3(1)	1		コミュニケーションⅡB
		初修外国語	ベーシック外国語	ベーシック・ドイツ語Ⅰ	2(1)	1		ベーシック・ドイツ語Ⅰ
				ベーシック・ドイツ語Ⅱ	2(1)	1		ベーシック・ドイツ語Ⅱ
				ベーシック・ドイツ語Ⅲ	2(1)	1		ベーシック・ドイツ語Ⅲ
				ベーシック・ドイツ語Ⅳ	2(1)	1		ベーシック・ドイツ語Ⅳ
				ベーシック・フランス語Ⅰ	2(1)	1		ベーシック・フランス語Ⅰ
				ベーシック・フランス語Ⅱ	2(1)	1		ベーシック・フランス語Ⅱ
				ベーシック・フランス語Ⅲ	2(1)	1		ベーシック・フランス語Ⅲ
				ベーシック・フランス語Ⅳ	2(1)	1		ベーシック・フランス語Ⅳ
				ベーシック中国語Ⅰ	2(1)	1		ベーシック中国語Ⅰ
				ベーシック中国語Ⅱ	2(1)	1		ベーシック中国語Ⅱ
				ベーシック中国語Ⅲ	2(1)	1		ベーシック中国語Ⅲ
				ベーシック中国語Ⅳ	2(1)	1		ベーシック中国語Ⅳ
	情報・データサイエンス科目			情報・データ科学入門	2	1		情報・データ科学入門
				データサイエンス基礎	2	1		データサイエンス基礎
				ゼロからはじめるプログラミング	2	1		ゼロからはじめるプログラミング

科　目　区　分		授　業　科　目	開設単位数	開設年次	備　　考	昼間授業時間帯開設授業科目
共通科目	**健康スポーツ科目**	健康スポーツ科学	2	1		健康スポーツ科学
		スポーツ実習Ａ	(1)	1		スポーツ実習 Ａ
		スポーツ演習	(1)	1	令和7(2025)年度は開講しません。	スポーツ演習
	社会連携科目	キャリアマネジメント概論	2	1		キャリアマネジメント概論
基盤科目		経済学入門	2	1		(対応科目なし)
		経営学入門	2	1		(対応科目なし)
		微分積分通論	2	1		微分積分通論
		基礎線形代数学	2	1		基礎線形代数学

（注１）本表は令和７(2025)年度入学生が「令和７(2025)年度教養教育開設授業科目一覧」の「１．昼間授業時間帯に開設する授業科目」に記載されている授業科目を履修した場合の対応表を兼ねる。本表の「昼間授業時間帯開設授業科目」に記載されている授業科目を履修した場合は，左欄の授業科目を履修したものとみなされる。

（注２）開設単位数（修得可能な上限単位数）と開講単位数（１科目当たりの単位数）が異なる授業科目については，（　）で開講単位数を示している。なお，展開ゼミ，スポーツ実習Ａ及びスポーツ演習については，開講単位数のみ設定している（上限単位数の設定なし）。

（注３）各授業科目は，開設年次欄に記載する年次から履修することが可能である。なお，実際に開講する時期については，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等に示す。

Ⅶ．教養教育関係規則等

１．広島大学教養教育科目履修規則

平成23年２月15日規則第３号

（趣旨）

第１条　この規則は，広島大学通則（平成16年４月１日規則第２号）第19条第３項の規定に基づき，広島大学における教養教育科目の履修等に関し必要な事項を定めるものとする。

（科目区分及び教育目標）

第２条　教養教育科目の科目区分及び教育目標は，次の表に掲げるとおりとする。

科目区分		教育目標
平和科目		戦争・紛争，核廃絶，貧困，飢餓，人口増加，環境，教育，文化等の様々な観点から平和について自ら考え，理解を深める。
大学教育基礎科目	大学教育入門	大学で学ぶことの意義と目標を理解し，大学で学ぶ上で基本となる技能や態度を身につける。
	教養ゼミ	人類や社会が抱えてきた歴史的，現代的な課題に対して，証拠に基づき論理的に考え批判的に自身の思考を吟味する能力と，適切に自己表現を行う能力を身につける。
	展開ゼミ	最先端のテーマについて学び討論したり，体験型の学習を行うことを通じて問題発見・解決能力を涵養するとともに，チャレンジ精神，プレゼンテーション力，リーダーシップ力などの向上を図る。
共通科目	領域科目	人間が蓄積してきた知識がどのようにして生まれ，育ってきたのか，その根本の考え方は何であるのかについて，文化的・社会的・自然科学的な視点を踏まえながら，専門分野の枠を超えて共通に求められる知的な技法を学ぶ。
	外国語科目	グローバル化時代に対応するため，様々な外国語で情報を受信し，発信できるコミュニケーション能力を養成し，知識・技能を修得するとともに，異なる言語や文化に対する理解を深める。
	情報・データサイエンス科目	高度情報化社会の中でデータを活用していくのに必要となる基礎的な知識や技能を修得し，その有用性と問題点，情報倫理上の課題を理解し，活用する能力を身につける。さらに，将来，新しく現れる技術にも対応していく態度を育てる。
	健康スポーツ科目	体力・健康づくりのための科学的理論を修得するとともに，自己の特性やスポーツの技能水準に適合したスポーツの実践を通じて，生涯にわたってスポーツを楽しむ態度・マナーや協調性などの社会的技能を修得する。
	社会連携科目	社会における多様性を理解し，実践することを通して，社会で生き，活躍するために必要な力を高める。
基盤科目		専門教育との有機的関連性を持つ前専門教育として，それぞれの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識の学習により，基礎学問の論理的骨格や体系及び学問形成に必要な知識・技術を修得する。

（授業科目及び単位数等）

第３条　教養教育科目として開設する授業科目（以下「授業科目」という。），単位数等は，別表のとおりとする。

２　授業時間割は，学年の始めに発表する。

（履修方法）
第４条　教養教育科目の履修方法については，各学部細則の定めるところによる。
（単位数の計算の基準）
第５条　授業科目の単位数は，授業の方法に応じ，次の基準により計算するものとする。
(1) 講義は，15時間の授業をもって１単位とする。
(2) 演習及び実習は，30時間の授業をもって１単位とする。
(3) 実験は，45時間の授業をもって１単位とする。
２　一の授業科目について，二以上の方法の併用により授業を行う場合の単位数の計算は，１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとなるよう，前項の基準を考慮してそれらの方法ごとに時間を定めるものとする。
３　前２項の規定にかかわらず，次の各号に掲げるものについては，当該各号に定めるところによる。
(1) 教養ゼミ及び展開ゼミは，15時間の授業をもって１単位とする。
(2) 情報・データサイエンス科目の情報・データ科学入門は，15時間の授業をもって１単位とする。
（履修手続）
第６条　学生は，授業科目を履修しようとするときは，毎学期指定する期間中に所定の手続をしなければならない。ただし，受講者数の制限等を行う授業科目にあっては，所定の手続を経た場合であっても履修が認められない場合がある。
２　前項本文に規定する所定の手続をしなかった場合は，当該授業科目の履修を認めない。ただし，特別の事由がある場合に限り，当該授業科目担当教員の承認を経て，履修を認めることがある。
３　既に単位を修得した授業科目については，原則として履修することができない。
（試験）
第７条　試験は，原則としてターム末に行う。ただし，授業科目によりレポート又は平常の成績をもって試験の成績に代えることがある。
２　試験の方法及び期日は，あらかじめ発表する。
３　授業実施時数の３分の２以上の出席を満たさない場合は，受験を認めない。ただし，所定の手続を経て欠席した場合で，その欠席が病気その他のやむを得ない事由によると認められるときは，当該授業科目担当教員の判断によるものとする。
（追試験）
第８条　次の各号のいずれかの理由により試験を受けることができなかった者は，追試験を受けることができる。
(1) 配偶者（性の多様性に関する理念と対応ガイドライン－LGBT 等の学生と教職員を包摂するキャンパスを目指して－（令和４年12月27日役員会承認）に示すパートナーシップを証明する書類により証明されるパートナーを含む。）又は３親等内の親族の死亡による忌引
(2) 負傷又は疾病（入院又はこれに準ずる場合に限る。）
(3) 天災その他の非常災害
(4) 交通機関の突発事故
(5) その他やむを得ない事情

2　追試験を受けようとする者は，原則として当該授業科目の試験実施後１週間以内に所定の追試験受験願を所属学部長に願い出なければならない。
3　追試験受験を許可された者は，原則として当該授業科目担当教員の指定する日時に追試験を受験しなければならない。
4　追試験の実施期間は，当該授業科目の試験実施後３週間以内とする。

（雑則）

第９条　この規則に定めるもののほか，教養教育科目の履修等に関し必要な事項は，教育本部が定める。

（略）

附　則

1　この規則は，令和７年４月１日から施行する。
2　令和６年度以前に入学した学生の教養教育科目の授業科目については，この規則による改正後の広島大学教養教育科目履修規則（以下「新規則」という。）の規定にかかわらず，なお従前の例による。
3　前項の規定にかかわらず，教育上有益と認めるときは，教育本部の定めるところにより，新規則に規定する授業科目の履修を認める場合がある。

別表（略）

※別表の内容は，「令和７(2025)年度教養教育科目開設授業科目一覧」(p. 教養20～p. 教養28）に一部加筆修正の上，掲載しています

２．外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて

広島大学通則（以下「通則」という。）第30条第１項及び第31条第２項に規定する文部科学大臣が別に定める学修のうち，外国語の外部検定試験等による単位認定については，次のとおり取り扱うものとする。

(1) 認定の対象となる外国語技能検定試験等，認定授業科目及び認定単位数（言語別）は，別表のとおりとする。

(2) 単位認定の申請方法及び範囲

① 認定の対象となる級位又は得点は以下のとおりとする。
英語・・・・・入学後に受験し取得したものに限る。
英語以外・・・申請日から遡って２年以内に受験し取得したものに限る。

② 入学前に所定の級位又は得点を得た者で，通則第31条第２項の規定に基づき単位認定を受けようとするものは，広島大学既修得単位等の認定に関する細則に定める既修得単位等認定願に代えて，外国語技能検定試験等による単位認定申請書（別紙）に，原則として認定証又は得点証明書の原本を添えて，所属する学部に申請する。

③ 入学後に所定の級位又は得点を得た者で，通則第30条第１項の規定に基づき単位認定を受けようとするものは，各履修手続期間内に，外国語技能検定試験等による単位認定申請書（別紙）に，原則として認定証又は得点証明書の原本を添えて，所属する学部に申請する。

④ 申請時に単位を修得していない授業科目についてのみ，申請を認める。ただし，ベーシック・日本語は除く。

⑤ 認定は単位のみとし，成績評価は付さない。

⑥ 各授業科目の認定単位数は，１単位を限度とする。ただし，ベーシック・日本語においては，各授業科目の認定単位数は，３単位を限度とする。

⑦ 申請の際現に履修登録している授業科目の認定を希望する場合は，当該授業科目の登録内容の変更について，「単位不要」又は「履修取消」のいずれかから選択する。

（略）

附則（令和７年３月11日　一部改正）

1　この取扱いは，令和７年４月１日から施行する。

2　令和６年度以前に入学した学生の外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについては，この取扱いによる改正後の外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについての規定にかかわらず，なお従前の例による。

別表

① 英語

<table>
<tr><th colspan="2">外国語技能検定試験等</th><th>級位・得点</th><th>認定授業科目</th><th>認定単位数</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">実用英語技能検定試験（英検）</td><td rowspan="2">準１級以上</td><td>コミュニケーション基礎Ⅰ
コミュニケーション基礎Ⅱ
コミュニケーション演習Ⅰ
コミュニケーション演習Ⅱ</td><td>２単位以内</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションⅠA
コミュニケーションⅠB
コミュニケーションⅡA
コミュニケーションⅡB</td><td>４単位以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">・TOEFL iBT（R）テスト※1
・広島大学が実施するTOEFL ITP（R）テスト※2</td><td rowspan="2">Paper-Based
※2</td><td rowspan="2">520点以上</td><td>コミュニケーション基礎Ⅰ
コミュニケーション基礎Ⅱ
コミュニケーション演習Ⅰ
コミュニケーション演習Ⅱ</td><td>２単位以内</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションⅠA
コミュニケーションⅠB
コミュニケーションⅡA
コミュニケーションⅡB</td><td>４単位以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Internet-Based</td><td rowspan="2">68点以上</td><td>コミュニケーション基礎Ⅰ
コミュニケーション基礎Ⅱ
コミュニケーション演習Ⅰ
コミュニケーション演習Ⅱ</td><td>２単位以内</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションⅠA
コミュニケーションⅠB
コミュニケーションⅡA
コミュニケーションⅡB</td><td>４単位以内</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">・TOEIC（R）Listening & Reading Test 公開テスト
・広島大学外国語教育研究センターが認めるTOEIC（R）Listening &Reading Test IPテスト</td><td rowspan="2">730点以上</td><td>コミュニケーション基礎Ⅰ
コミュニケーション基礎Ⅱ
コミュニケーション演習Ⅰ
コミュニケーション演習Ⅱ</td><td>２単位以内</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションⅠA
コミュニケーションⅠB
コミュニケーションⅡA
コミュニケーションⅡB</td><td>４単位以内</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">・International English Language Testing System（IELTS）「アカデミック・モジュール」
・Computer-delivered IELTS Academic</td><td rowspan="2">5.5点以上</td><td>コミュニケーション基礎Ⅰ
コミュニケーション基礎Ⅱ
コミュニケーション演習Ⅰ
コミュニケーション演習Ⅱ</td><td>２単位以内</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションⅠA
コミュニケーションⅠB
コミュニケーションⅡA
コミュニケーションⅡB</td><td>４単位以内</td></tr>
</table>

※1　Test Date スコアのみ対象。Best ™ スコアは対象外。TOEFL iBT（R）テスト Home Edition 及び Special Home Edition は対象外。

※2　広島大学が実施する TOEFL ITP（R）テストの得点は，表中の Paper-Based の得点に読み替えて認定する。

②　ドイツ語

外国語技能検定試験等	級位	認定授業科目	認定単位数
ドイツ語技能検定 （独検）	２級以上	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ インテンシブ・ドイツ語ⅠA インテンシブ・ドイツ語ⅠB インテンシブ・ドイツ語ⅡA インテンシブ・ドイツ語ⅡB	８単位以内
	３級	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ	４単位以内
	４級	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ	２単位以内
Österreichisches Sprachdiplom Deutsch （ÖSD）※	A2以上	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ インテンシブ・ドイツ語ⅠA インテンシブ・ドイツ語ⅠB インテンシブ・ドイツ語ⅡA インテンシブ・ドイツ語ⅡB	８単位以内
	A1	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ	４単位以内
Goethe-Zertifikat ※	A2以上	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ インテンシブ・ドイツ語ⅠA インテンシブ・ドイツ語ⅠB インテンシブ・ドイツ語ⅡA インテンシブ・ドイツ語ⅡB	８単位以内
	A1	ベーシック・ドイツ語Ⅰ ベーシック・ドイツ語Ⅱ ベーシック・ドイツ語Ⅲ ベーシック・ドイツ語Ⅳ	４単位以内

※　４技能（話す・聞く・読む・書く）すべてにおいて合格した場合にのみ申請可能。

③　フランス語

外国語技能検定試験等	級位・得点	認定授業科目	認定単位数
フランス語技能検定 （仏検）	３級以上	ベーシック・フランス語Ⅰ ベーシック・フランス語Ⅱ ベーシック・フランス語Ⅲ ベーシック・フランス語Ⅳ インテンシブ・フランス語ⅠA インテンシブ・フランス語ⅠB インテンシブ・フランス語ⅡA インテンシブ・フランス語ⅡB	８単位以内
	４級	ベーシック・フランス語Ⅰ ベーシック・フランス語Ⅱ ベーシック・フランス語Ⅲ ベーシック・フランス語Ⅳ	４単位以内
	５級	ベーシック・フランス語Ⅰ ベーシック・フランス語Ⅱ	２単位以内
DELF /DALF ※	A1以上	ベーシック・フランス語Ⅰ ベーシック・フランス語Ⅱ ベーシック・フランス語Ⅲ ベーシック・フランス語Ⅳ インテンシブ・フランス語ⅠA インテンシブ・フランス語ⅠB インテンシブ・フランス語ⅡA インテンシブ・フランス語ⅡB	８単位以内
TCF フランス語能力テスト	100以上	ベーシック・フランス語Ⅰ ベーシック・フランス語Ⅱ ベーシック・フランス語Ⅲ ベーシック・フランス語Ⅳ インテンシブ・フランス語ⅠA インテンシブ・フランス語ⅠB インテンシブ・フランス語ⅡA インテンシブ・フランス語ⅡB	８単位以内
TEF パリ商工会議所フランス語 能力認定試験	69以上	ベーシック・フランス語Ⅰ ベーシック・フランス語Ⅱ ベーシック・フランス語Ⅲ ベーシック・フランス語Ⅳ インテンシブ・フランス語ⅠA インテンシブ・フランス語ⅠB インテンシブ・フランス語ⅡA インテンシブ・フランス語ⅡB	８単位以内

※　４技能（話す・聞く・読む・書く）すべてにおいて合格した場合にのみ申請可能。

④　中国語

外国語技能検定試験等	級位	認定授業科目	認定単位数
中国語検定試験 （中検）	３級以上	ベーシック・中国語Ⅰ ベーシック・中国語Ⅱ ベーシック・中国語Ⅲ ベーシック・中国語Ⅳ インテンシブ・中国語ⅠＡ インテンシブ・中国語ⅠＢ インテンシブ・中国語ⅡＡ インテンシブ・中国語ⅡＢ	８単位以内
	４級	ベーシック・中国語Ⅰ ベーシック・中国語Ⅱ ベーシック・中国語Ⅲ ベーシック・中国語Ⅳ	４単位以内
	準４級	ベーシック・中国語Ⅰ ベーシック・中国語Ⅱ	２単位以内
HSK ※	４級以上	ベーシック・中国語Ⅰ ベーシック・中国語Ⅱ ベーシック・中国語Ⅲ ベーシック・中国語Ⅳ インテンシブ・中国語ⅠＡ インテンシブ・中国語ⅠＢ インテンシブ・中国語ⅡＡ インテンシブ・中国語ⅡＢ	８単位以内
	３級	ベーシック・中国語Ⅰ ベーシック・中国語Ⅱ ベーシック・中国語Ⅲ ベーシック・中国語Ⅳ	４単位以内
	２級	ベーシック・中国語Ⅰ ベーシック・中国語Ⅱ	２単位以内

※　「筆記試験」に合格している場合，申請可能。「口頭試験」（初級・中級・高級）のみでの申請は認めない。

⑤　韓国語

外国語技能検定試験等	級位	認定授業科目	認定単位数
韓国語能力試験（TOPIK）	５級以上	ベーシック・韓国語Ⅰ ベーシック・韓国語Ⅱ ベーシック・韓国語Ⅲ ベーシック・韓国語Ⅳ インテンシブ・韓国語ⅠＡ インテンシブ・韓国語ⅠＢ インテンシブ・韓国語ⅡＡ インテンシブ・韓国語ⅡＢ	８単位以内
	４級	ベーシック・韓国語Ⅰ ベーシック・韓国語Ⅱ ベーシック・韓国語Ⅲ ベーシック・韓国語Ⅳ	４単位以内
	３級	ベーシック・韓国語Ⅰ ベーシック・韓国語Ⅱ ベーシック・韓国語Ⅲ ベーシック・韓国語Ⅳ	２単位以内

⑥　スペイン語

外国語技能検定試験等	級位	認定授業科目	認定単位数
スペイン語技能検定 （西検）	４級以上	ベーシック・スペイン語Ⅰ ベーシック・スペイン語Ⅱ ベーシック・スペイン語Ⅲ ベーシック・スペイン語Ⅳ インテンシブ・スペイン語ⅠＡ インテンシブ・スペイン語ⅠＢ インテンシブ・スペイン語ⅡＡ インテンシブ・スペイン語ⅡＢ	８単位以内
	５級	ベーシック・スペイン語Ⅰ ベーシック・スペイン語Ⅱ ベーシック・スペイン語Ⅲ ベーシック・スペイン語Ⅳ	４単位以内
	６級	ベーシック・スペイン語Ⅰ ベーシック・スペイン語Ⅱ	２単位以内
DELE ※	Ａ２以上	ベーシック・スペイン語Ⅰ ベーシック・スペイン語Ⅱ ベーシック・スペイン語Ⅲ ベーシック・スペイン語Ⅳ インテンシブ・スペイン語ⅠＡ インテンシブ・スペイン語ⅠＢ インテンシブ・スペイン語ⅡＡ インテンシブ・スペイン語ⅡＢ	８単位以内
	Ａ１	ベーシック・スペイン語Ⅰ ベーシック・スペイン語Ⅱ ベーシック・スペイン語Ⅲ ベーシック・スペイン語Ⅳ	４単位以内

※　４技能（話す・聞く・読む・書く）すべてにおいて合格した場合にのみ申請可能。

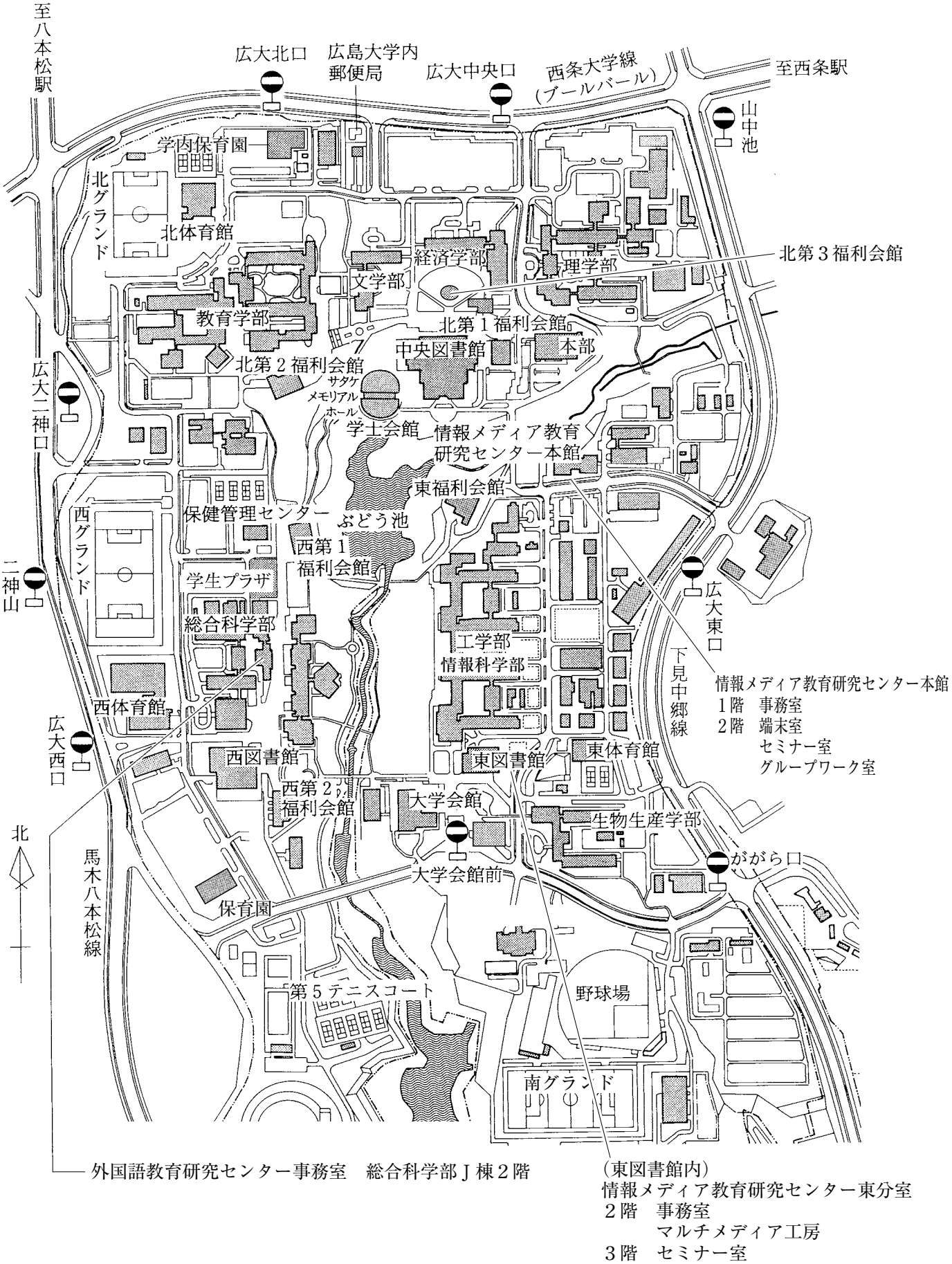
⑦　日本語

外国語技能検定試験等	級位・得点	認定授業科目	認定単位数
日本語能力試験（JLPT）	N1	ベーシック・日本語Ⅰ ベーシック・日本語Ⅱ ベーシック・日本語Ⅲ ベーシック・日本語Ⅳ	８単位以内
	N2	ベーシック・日本語Ⅰ ベーシック・日本語Ⅱ ベーシック・日本語Ⅲ ベーシック・日本語Ⅳ	４単位以内

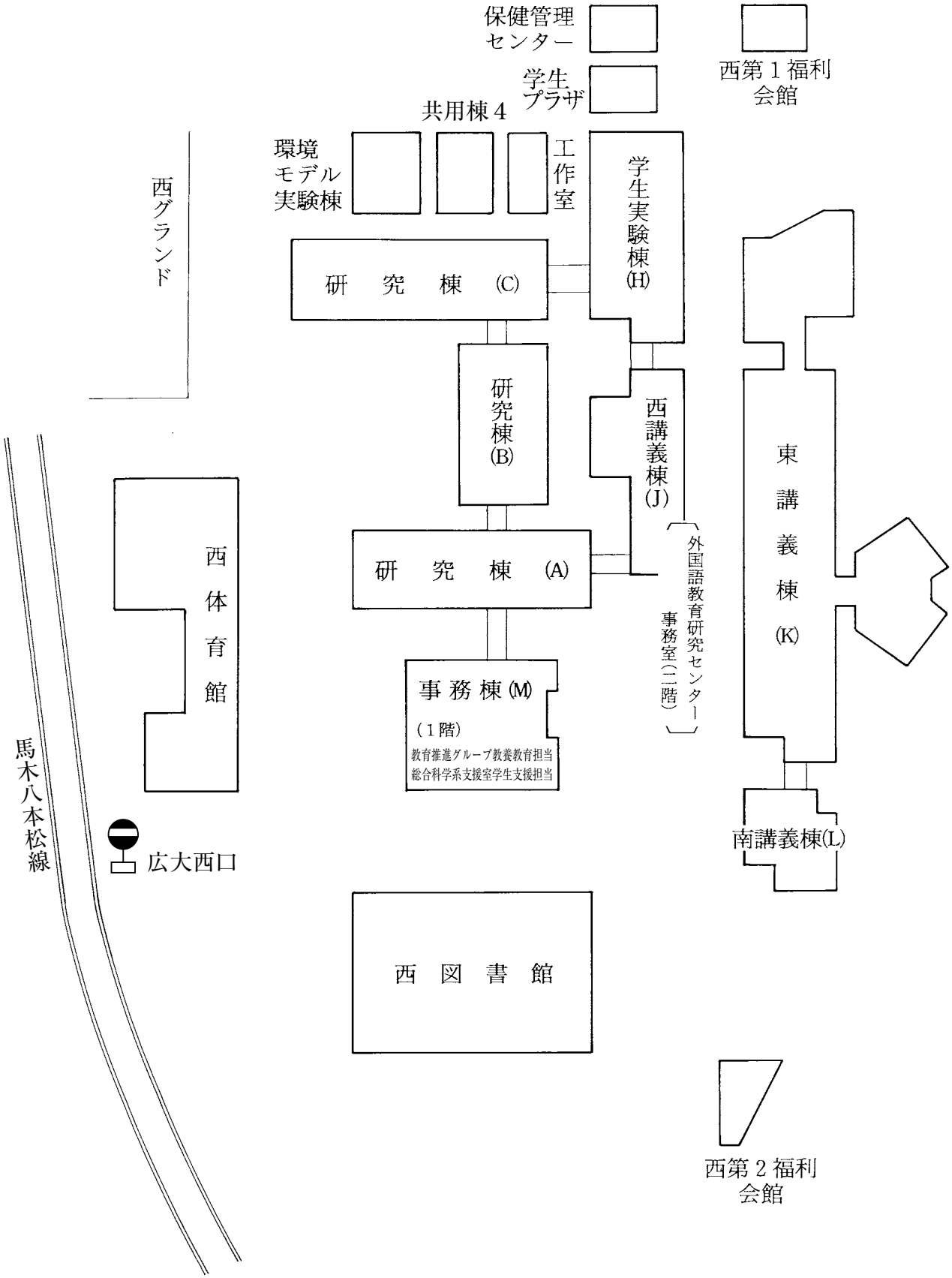
Ⅷ. 配置図等

1．東広島キャンパス配置図

（2025年３月現在）

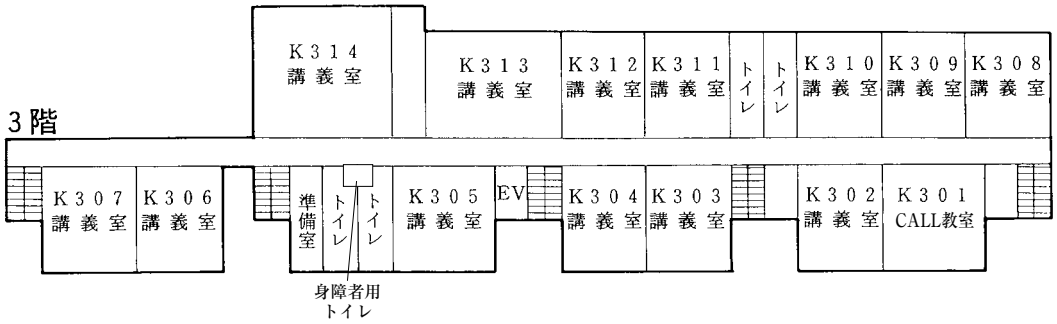


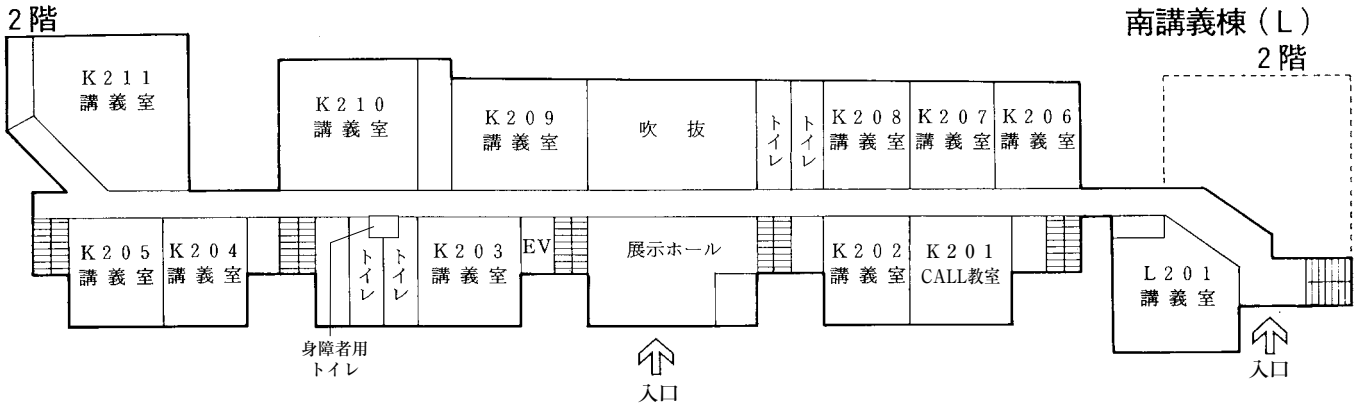
2．総合科学部付近配置図

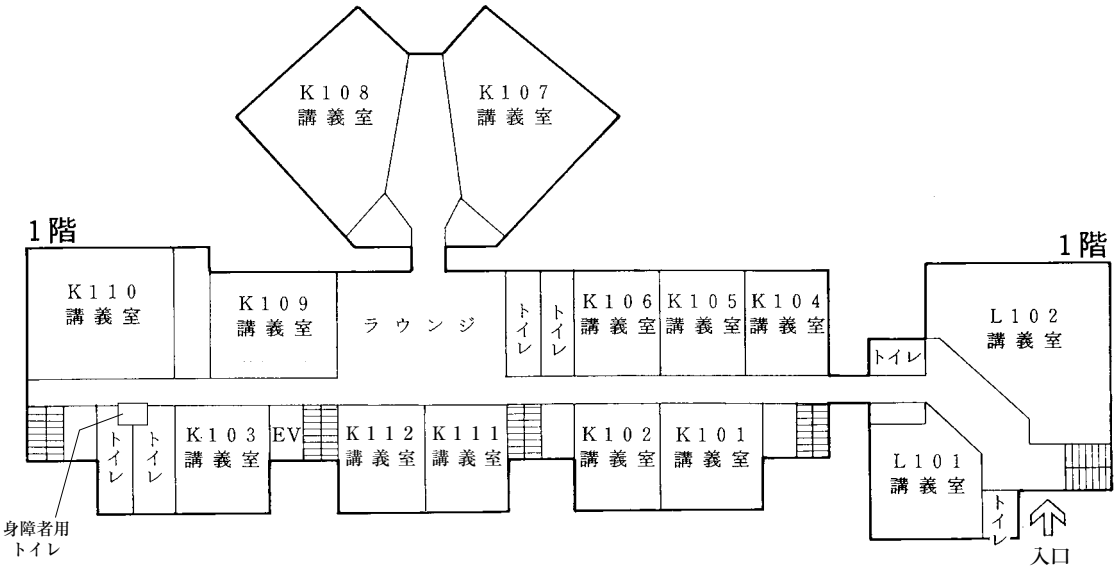


3．総合科学部講義室配置図

東講義棟（K）

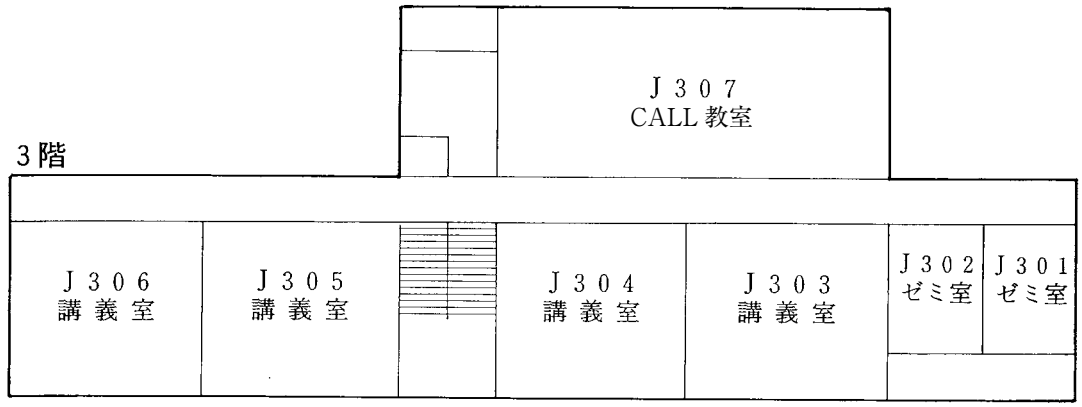


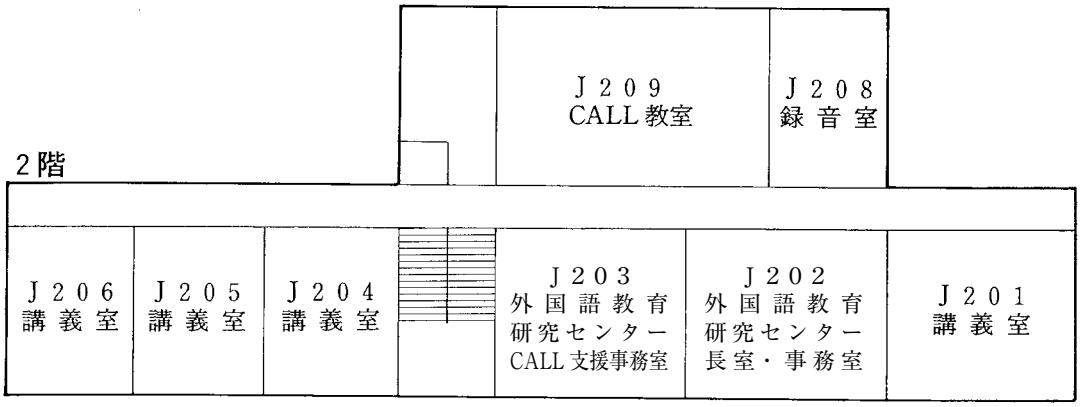


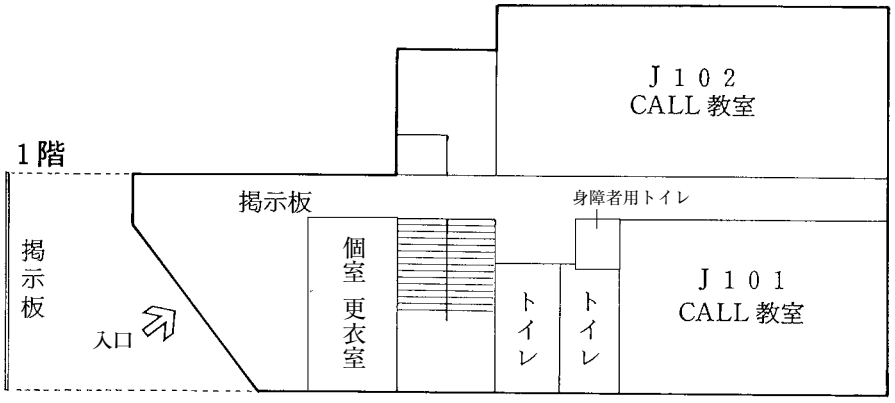


EV…エレベーター

西講義棟（J）

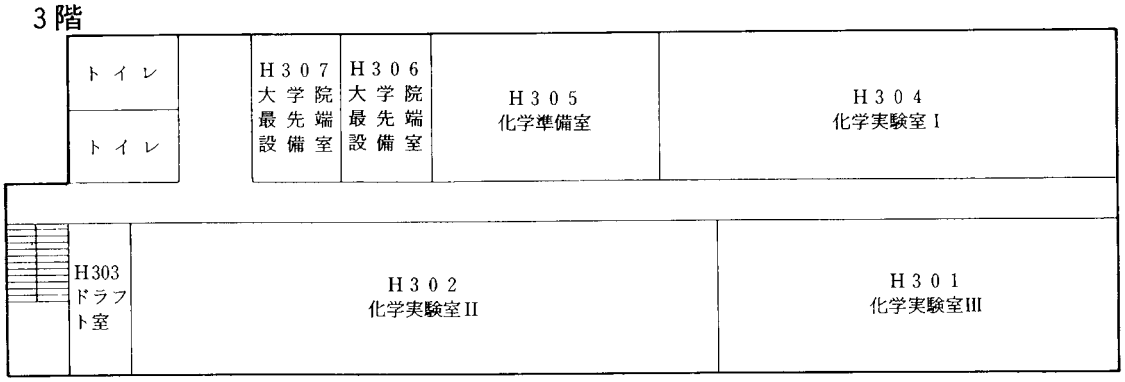

3階
J307
CALL教室
J306
講義室
J305
講義室
J304
講義室
J303
講義室
J302
ゼミ室
J301
ゼミ室


2階
J209
CALL教室
J208
録音室
J206
講義室
J205
講義室
J204
講義室
J203
外国語教育
研究センター
CALL支援事務室
J202
外国語教育
研究センター
長室・事務室
J201
講義室

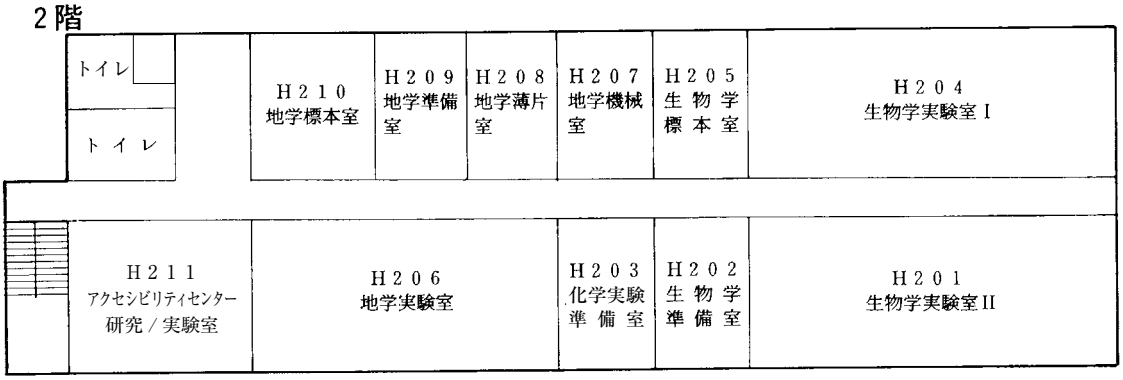

1階
J102
CALL教室
掲示板
身障者用トイレ
掲示板
入口
個室
更衣室
トイレ
トイレ
J101
CALL教室

学生実験棟（H）

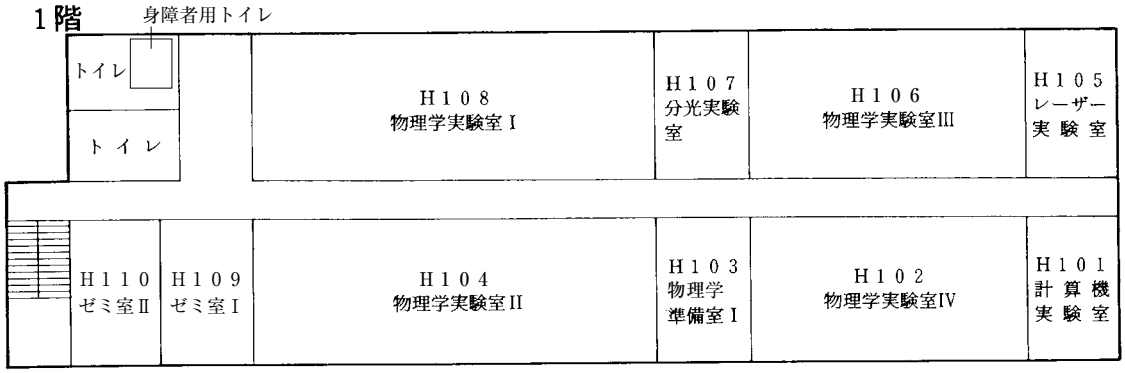
3階



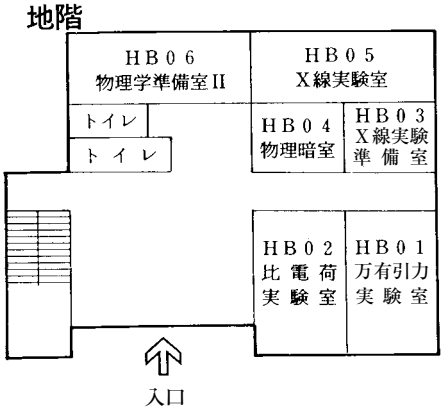
2階



1階

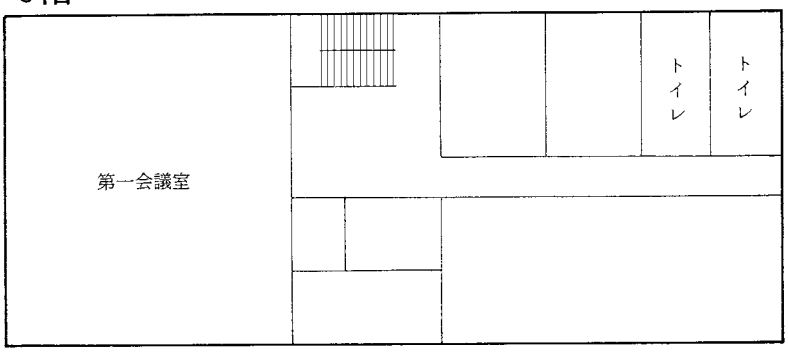


地階

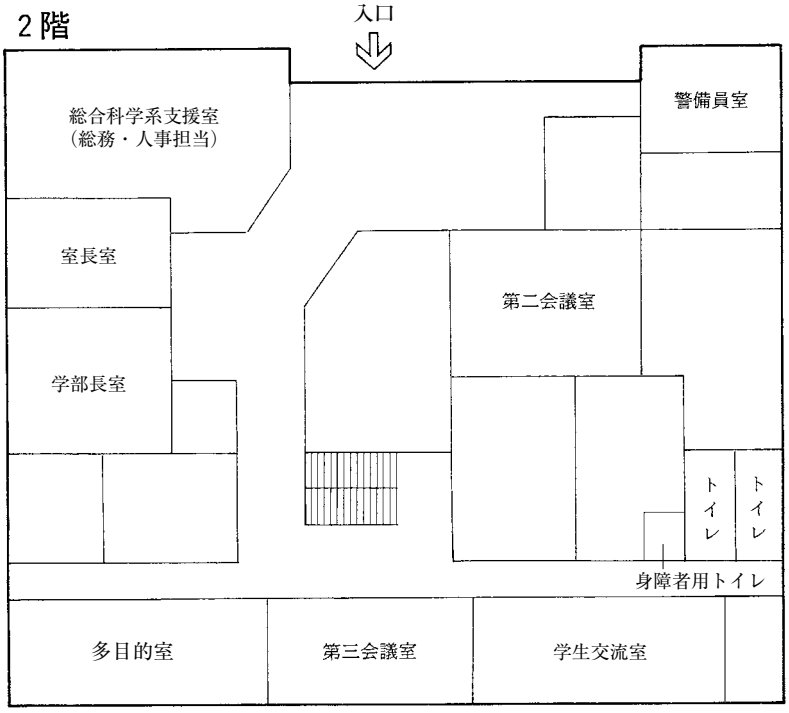


事務棟（M）

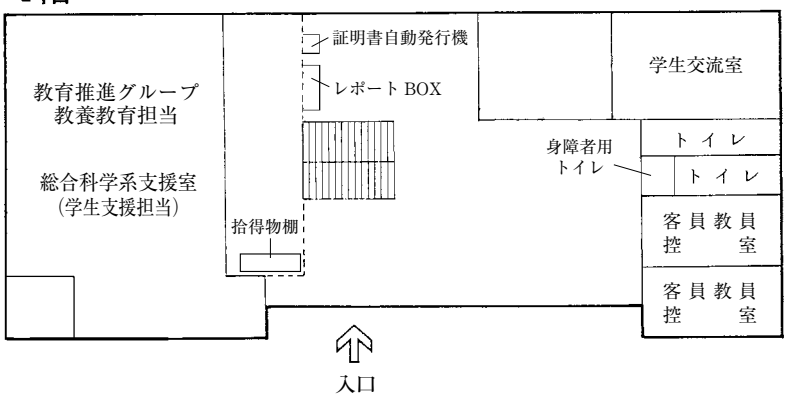
3階


第一会議室
トイレ
トイレ

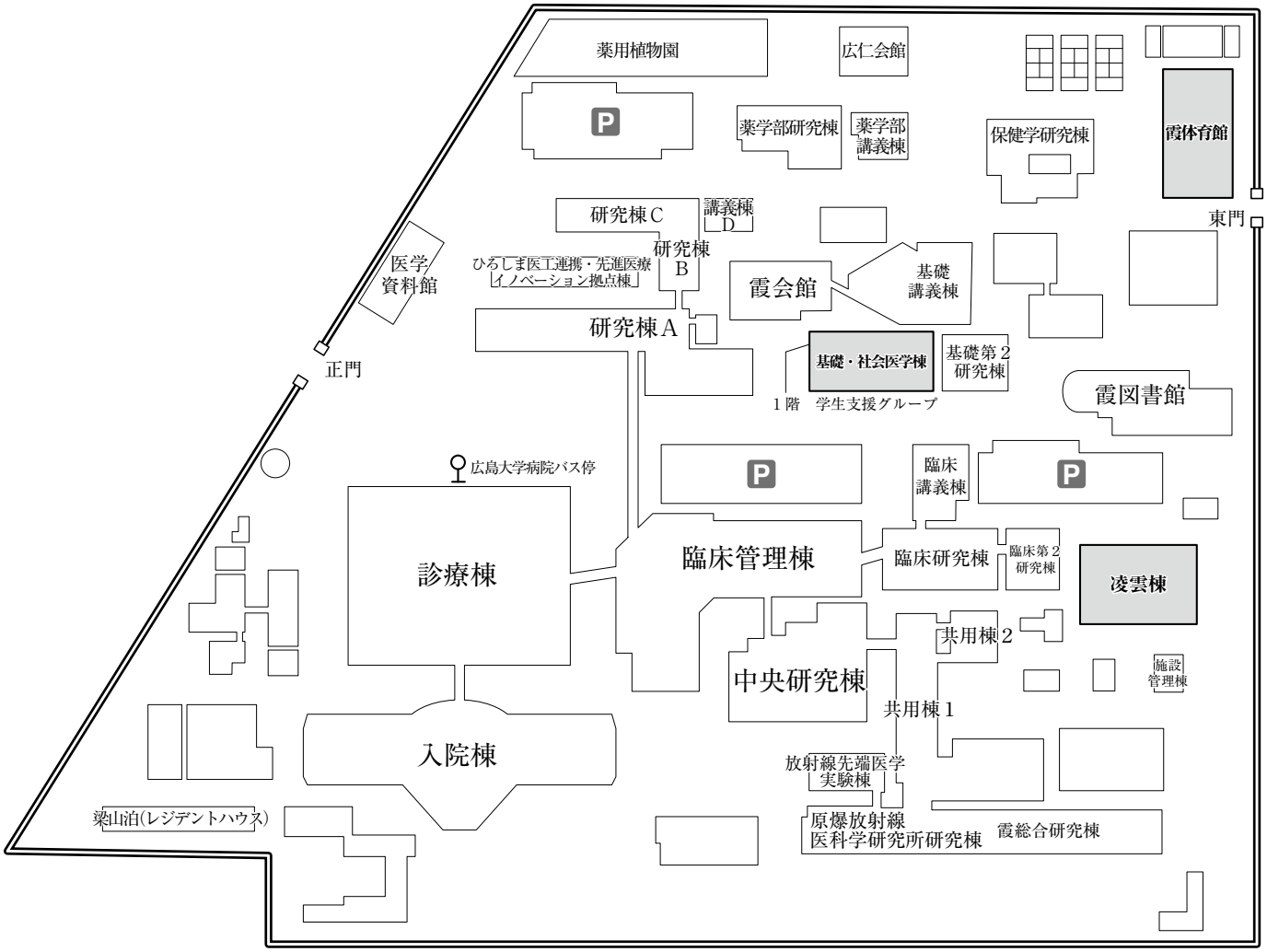
2階


入口
総合科学系支援室
（総務・人事担当）
警備員室
室長室
第二会議室
学部長室
トイレ
トイレ
身障者用トイレ
多目的室
第三会議室
学生交流室

1階

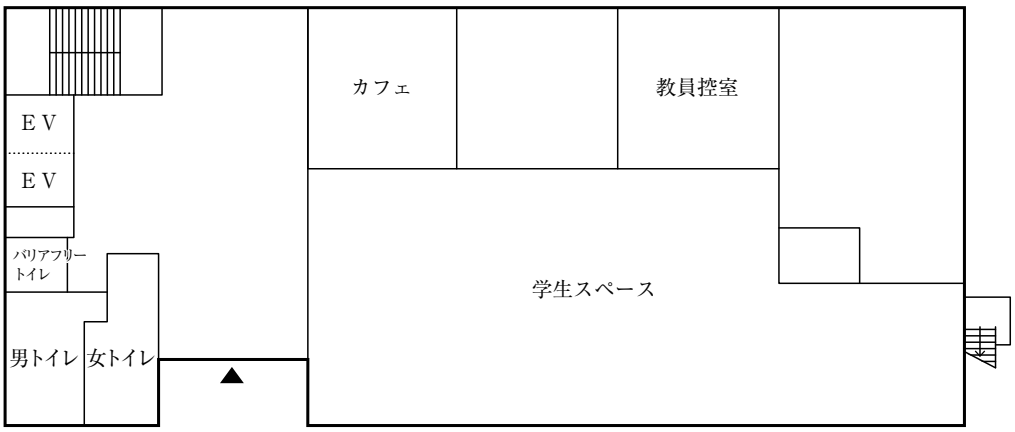

証明書自動発行機
レポートBOX
教育推進グループ
教養教育担当
総合科学系支援室
（学生支援担当）
拾得物棚
学生交流室
身障者用
トイレ
トイレ
トイレ
客員教員
控室
客員教員
控室
入口

４．霞キャンパス配置図

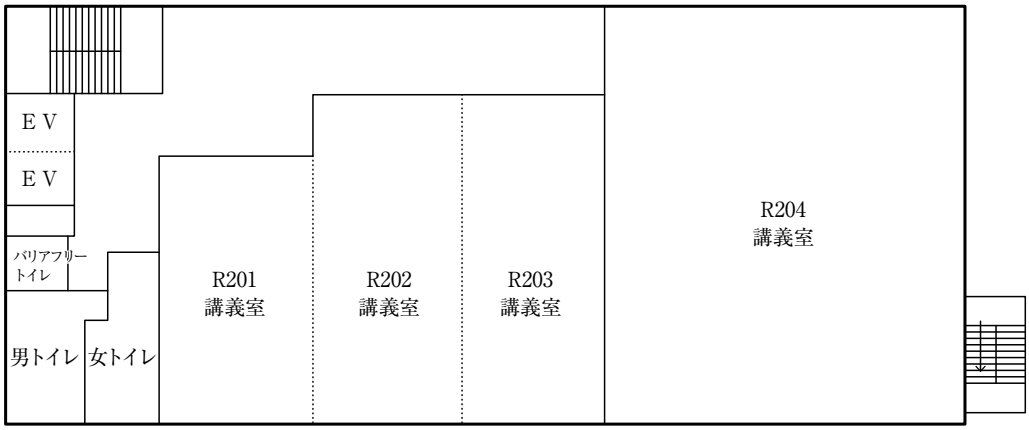


凌 雲 棟

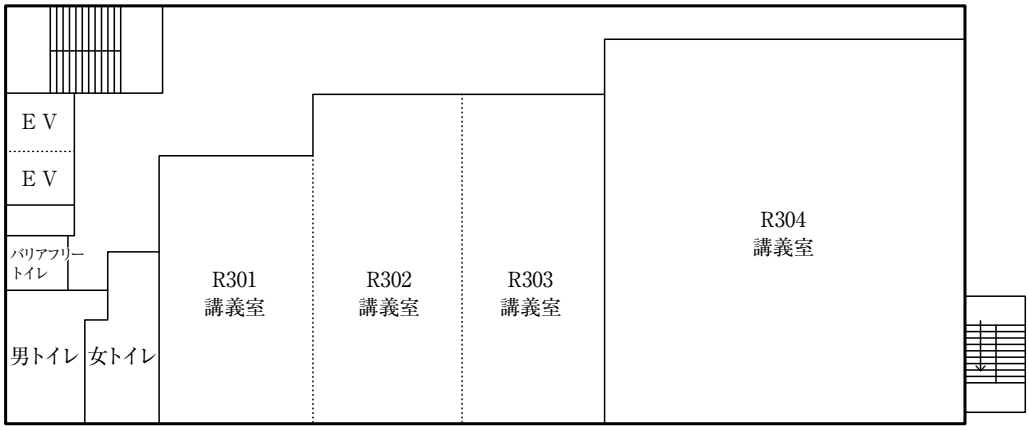
1Ｆ



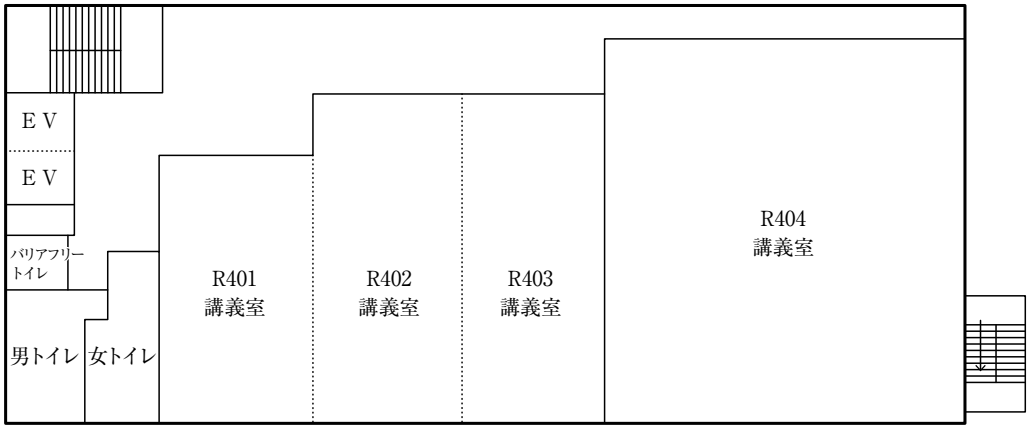
2F


ＥＶ
ＥＶ
バリアフリー
トイレ
男トイレ
女トイレ
R201
講義室
R202
講義室
R203
講義室
R204
講義室

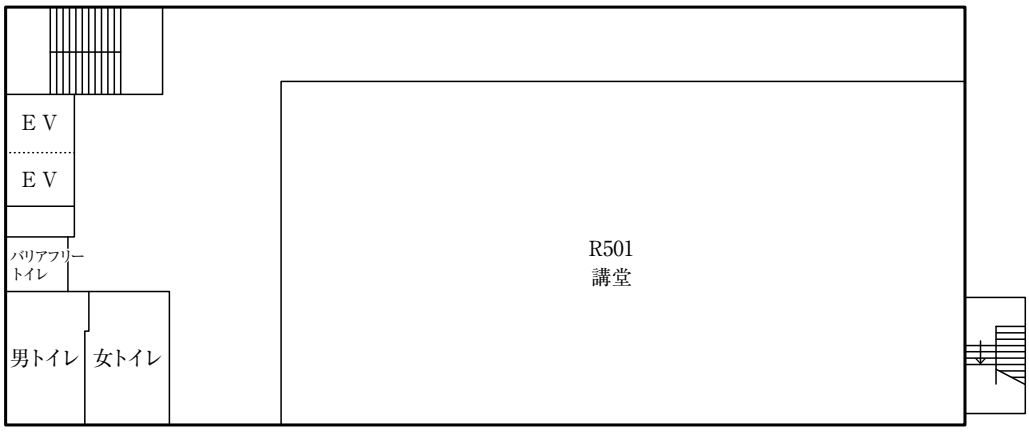
3F


ＥＶ
ＥＶ
バリアフリー
トイレ
男トイレ
女トイレ
R301
講義室
R302
講義室
R303
講義室
R304
講義室

4F

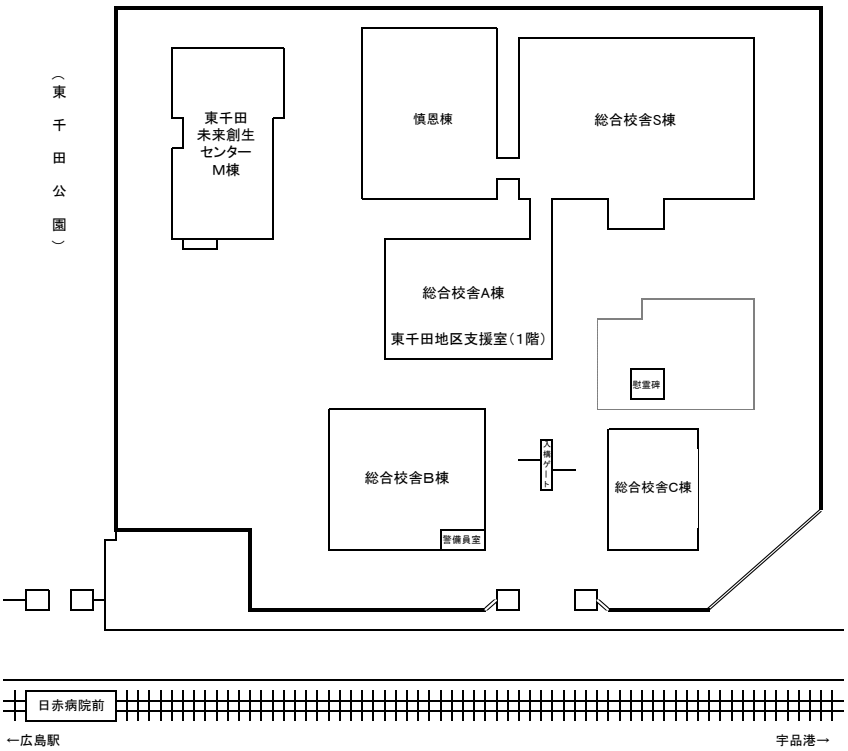

ＥＶ
ＥＶ
バリアフリー
トイレ
男トイレ
女トイレ
R401
講義室
R402
講義室
R403
講義室
R404
講義室

5F


ＥＶ
ＥＶ
バリアフリー
トイレ
男トイレ
女トイレ
R501
講堂

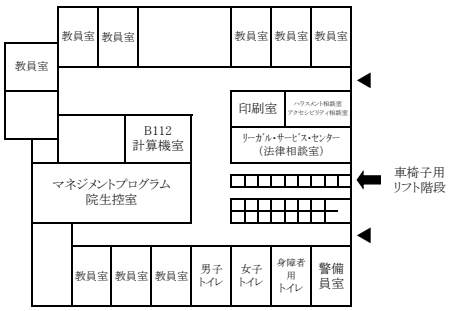
５．東千田キャンパス配置図

東千田キャンパス配置図

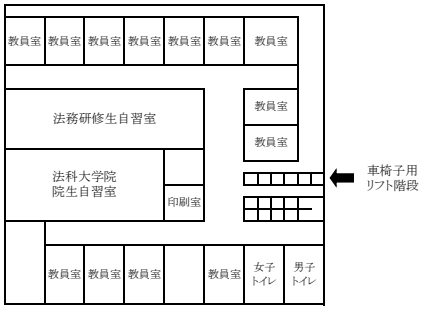


【総合校舎B棟】

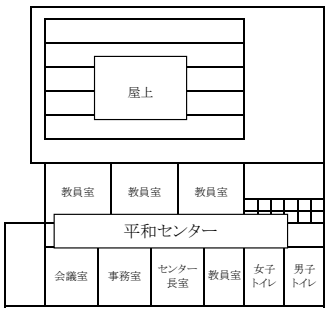
1F



2F

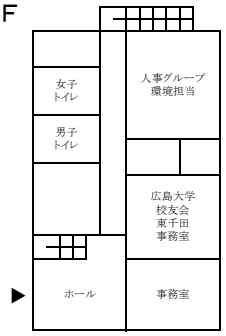


3F

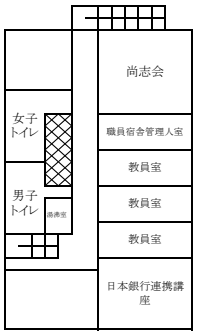


【総合校舎C棟】

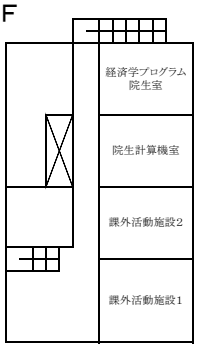
1F



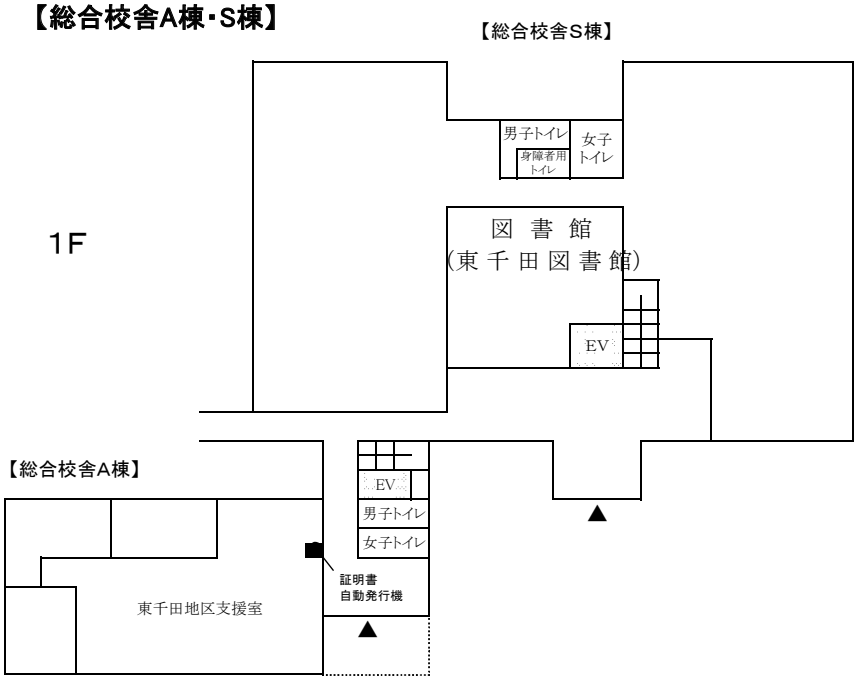
2F

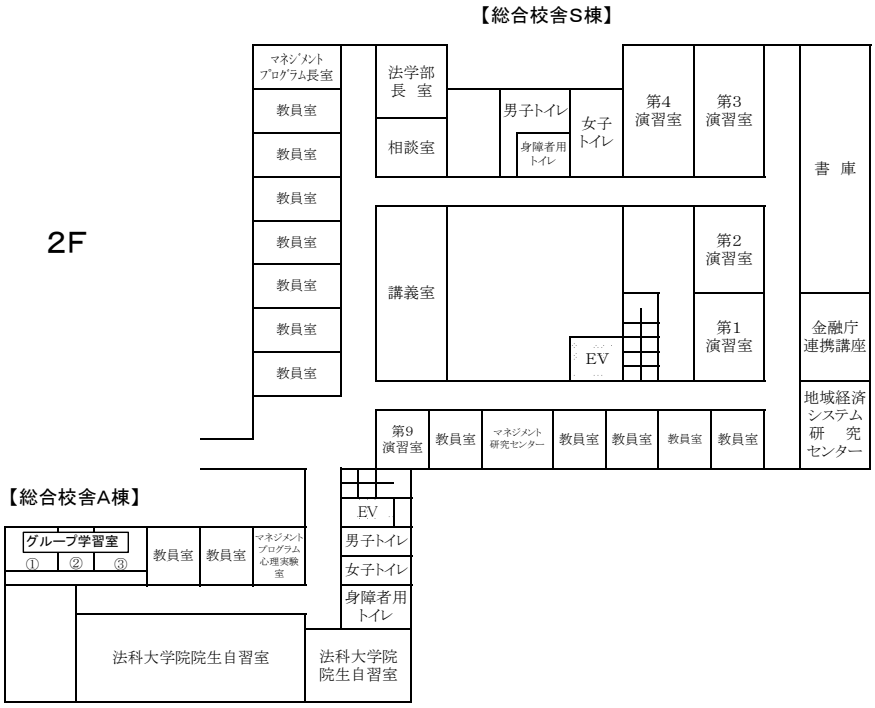


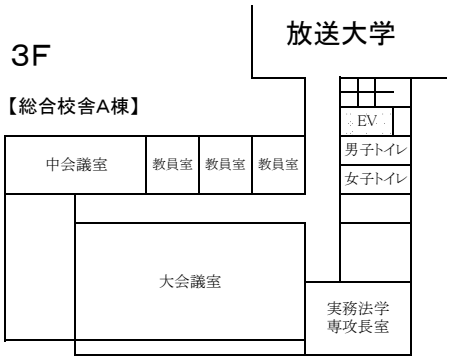
3F

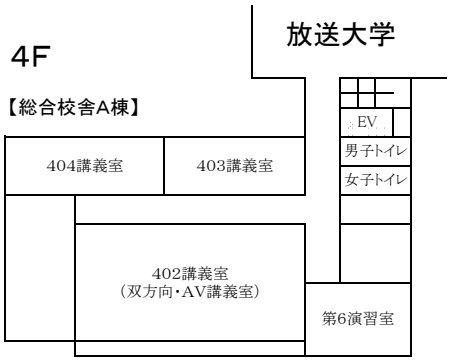


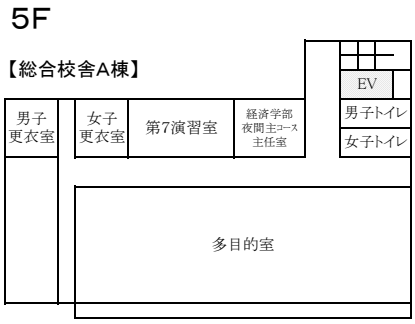
【総合校舎A棟・S棟】

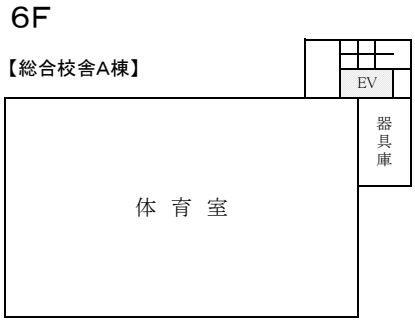

【総合校舎S棟】
1F
男子トイレ
身障者用トイレ
女子トイレ
図 書 館
(東 千 田 図 書 館)
EV
【総合校舎A棟】
EV
男子トイレ
女子トイレ
証明書自動発行機
東千田地区支援室


【総合校舎S棟】
2F
マネジメントプログラム長室
教員室
教員室
教員室
教員室
教員室
教員室
教員室
法学部長室
相談室
男子トイレ
身障者用トイレ
女子トイレ
第4演習室
第3演習室
書 庫
講義室
第2演習室
第1演習室
EV
金融庁連携講座
地域経済システム研究センター
第9演習室
教員室
マネジメント研究センター
教員室
教員室
教員室
教員室
【総合校舎A棟】
グループ学習室
①
②
③
教員室
教員室
マネジメントプログラム心理実験室
EV
男子トイレ
女子トイレ
身障者用トイレ
法科大学院院生自習室
法科大学院院生自習室


放送大学
3F
【総合校舎A棟】
中会議室
教員室
教員室
教員室
EV
男子トイレ
女子トイレ
大会議室
実務法学専攻長室

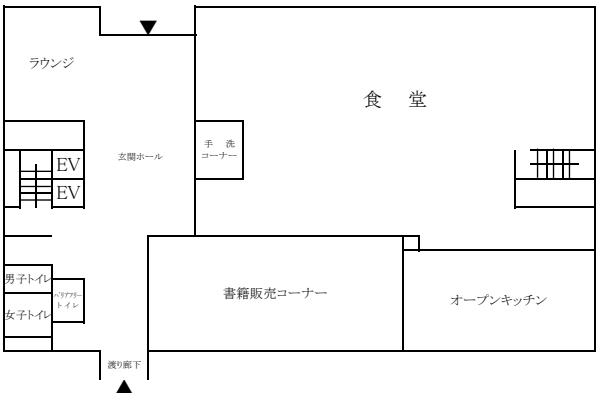

放送大学
4F
【総合校舎A棟】
404講義室
403講義室
EV
男子トイレ
女子トイレ
402講義室
(双方向・AV講義室)
第6演習室


5F
【総合校舎A棟】
男子更衣室
女子更衣室
第7演習室
経済学部夜間主コース主任室
EV
男子トイレ
女子トイレ
多目的室

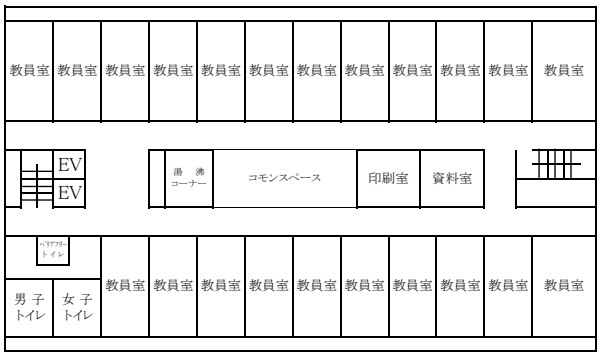

6F
【総合校舎A棟】
EV
器具庫
体 育 室

【慎恩棟】

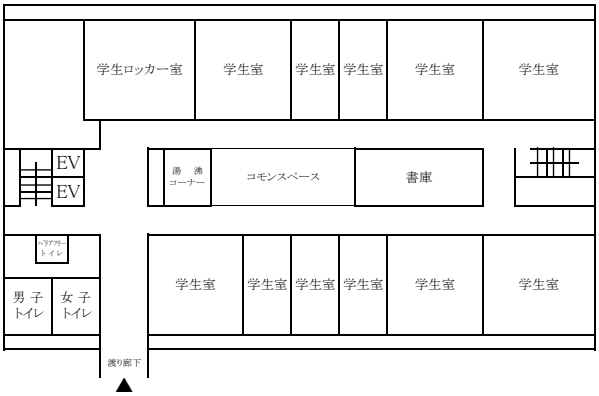
1F



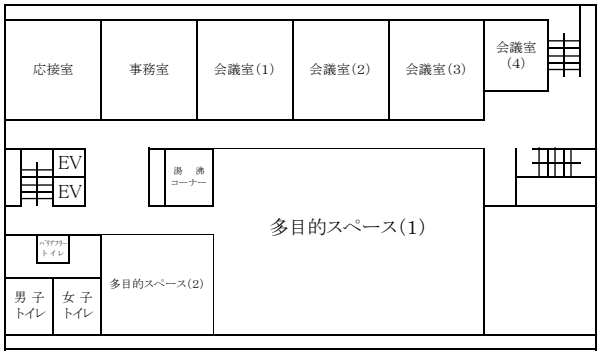
4F



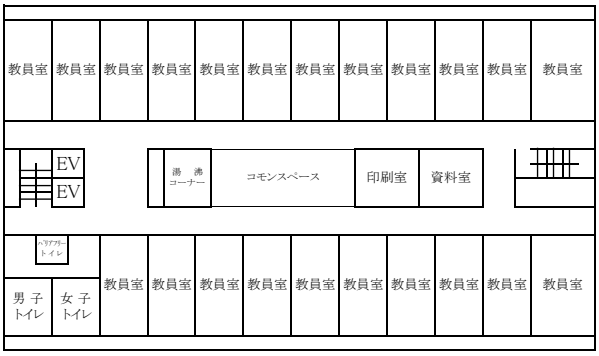
2F



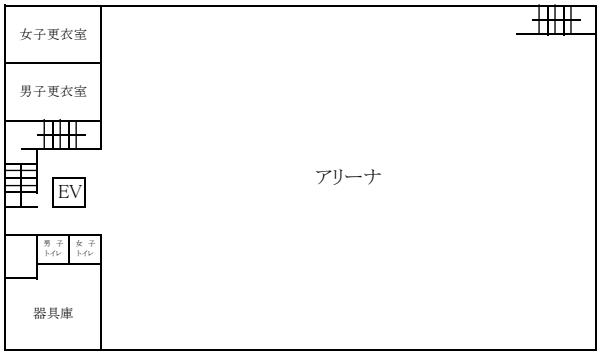
5F



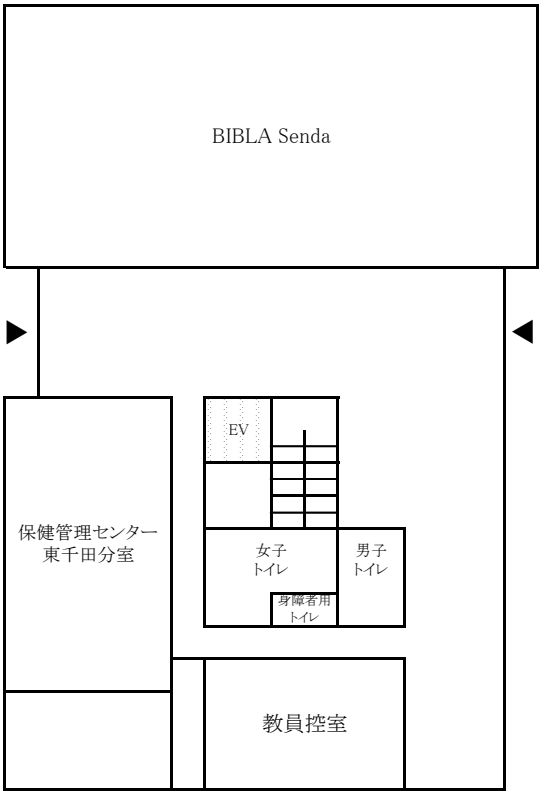
3F



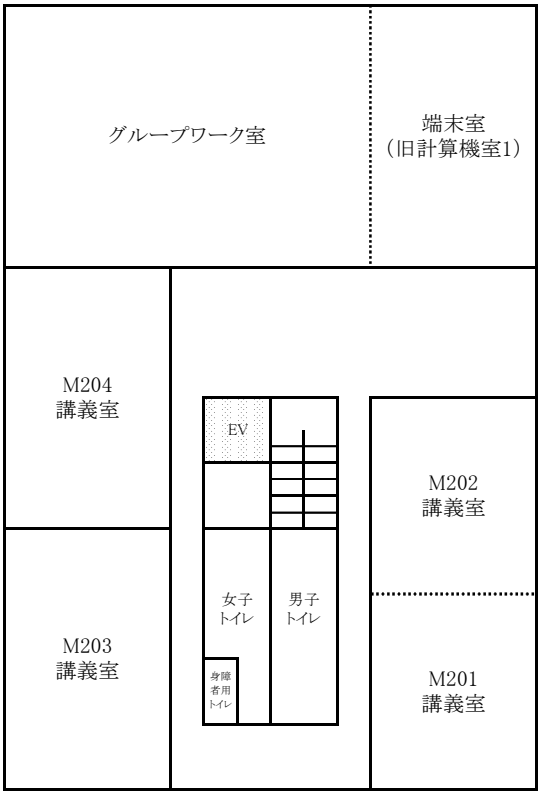
6F



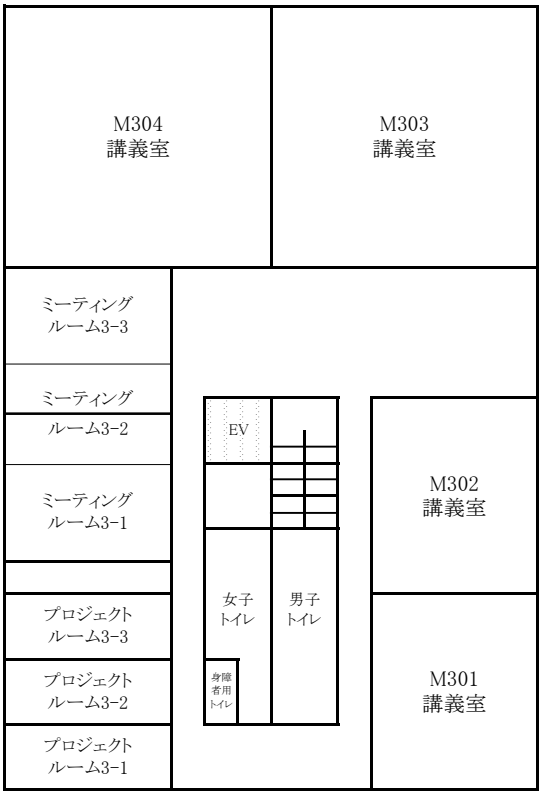
【東千田未来創生センターM棟】



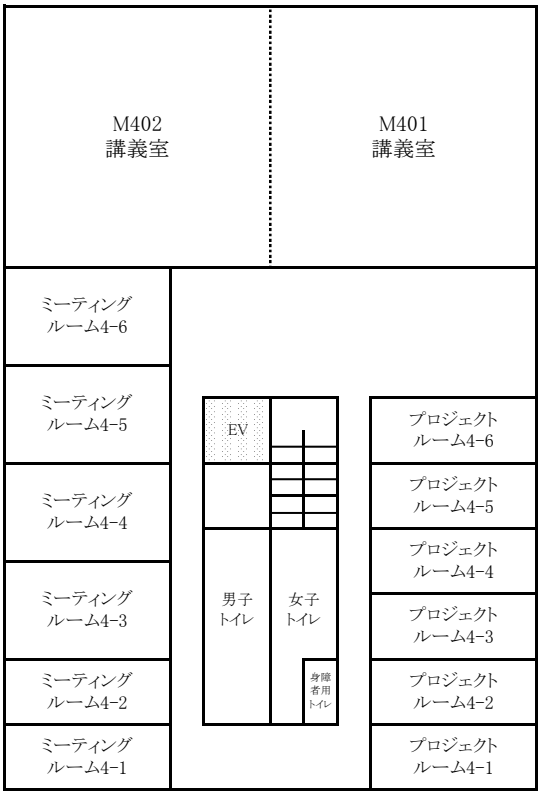
1F



2F



3F



4F

６．教養教育担当及び各学部学生支援担当の連絡先

教養教育科目の履修に関する質問・相談は，教育推進グループ教養教育担当及び霞地区運営支援部学生支援グループ（学生生活・教養担当）で受け付けています。また，学部が定める履修基準などに関する質問・相談については，所属学部の学生支援担当に相談してください。

なお，E-mail を送るときには，必ず学生番号と名前を書いてください。

東広島キャンパス（東広島市）　　受付時間：（月～金）８時30分～17時15分

所属学部		電話番号	E-mail アドレス
総合科学部	総合科学科	082-424-6315	souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
	国際共創学科	082-424-7988	
文学部		082-424-6613	bun-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
教育学部		082-424-6725	kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp
経済学部 昼間コース		082-424-7217	syakai-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
理学部		082-424-7317	ri-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
工学部		082-424-7524	kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp
生物生産学部		082-424-7915	sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
情報科学部		082-424-7611	kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp
教育推進グループ 教養教育担当		082-424-6139	gsyugaku-group@office.hiroshima-u.ac.jp

※教育推進グループ教養教育担当は総合科学部事務棟１階（場所は p. 教養43参照）にあります。

霞キャンパス（広島市）　　受付時間：（月～金）８時30分～17時15分

所属学部	電話番号	E-mail アドレス
医学部	082-257-5049	kasumi-gaku-m@office.hiroshima-u.ac.jp
歯学部	082-257-5614	kasumi-gaku-d@office.hiroshima-u.ac.jp
薬学部	082-257-5777	kasumi-gaku-p@office.hiroshima-u.ac.jp

東千田キャンパス（広島市）　　受付時間：（月～金）８時30分～17時15分

所属学部	電話番号	E-mail アドレス
法学部 昼間コース	082-542-7057	senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

東千田キャンパス（広島市）　　受付時間：（月～金）12時30分～21時15分

所属学部	電話番号	E-mail アドレス
法学部 夜間主コース	082-542-6998	senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
経済学部 夜間主コース	082-542-6961	